

景気判断理由集

- I．景気の現状に対する判断理由
- II．景気の先行きに対する判断理由

Ⅰ. 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	百貨店(売場主任)	・来客数、レジ待ちの客数が伸びており、特にミセス層の購買力が非常に高い。
	やや良くなっている	百貨店(販売促進担当)	・来客数、売上ともに前年を上回っている。
		コンビニ(店長)	・客単価、来客数ともに回復しつつある。
		その他専門店[医薬品](経営者)	・買う物は買う、控えるものは控えるという傾向の中で、単価が上昇傾向にある。
		一般レストラン(スタッフ)	・団体客、グループ客の増加に加え、客単価、売上ともに前年度を大きく上回っている。
		観光型ホテル(経営者)	・観光入込客が相当増加している。例年は入込客数に月ごとの波があったが、この数か月間は一貫して増加傾向である。
		観光型ホテル(スタッフ)	・5月の予約者数が各地域とも昨年を上回っている。
	美容室(経営者)	・来客数、売上に変化はないが、客の店売品の購買が増加している。	
	変わらない	百貨店(売場主任)	・来客数、客単価が低迷したままである。セール等のイベントをしても目玉商品しか購入しない傾向が強く、通常品の売上が伸びない。
		スーパー(店長)	・商品単価が更に低下する等、必要な物しか買わない傾向がますます強まってきており、客単価も低下したままである。
		コンビニ(エリア担当)	・ゴールデンウィーク期間中は、観光客の入込が回復したこともあり、好調に推移したが、月の後半は来客数、客単価ともに低調に推移している。
		家電量販店(店員)	・5月は家電リサイクル法施行前の駆け込み需要の反動がまだ出ている。エアコンの出足も昨年と比べると鈍い。
		乗用車販売店(従業員)	・客の購買意欲が鈍く、展示会の来客数も頭打ちである。
		乗用車販売店(従業員)	・新型車を発表したที่มา客数、新規契約ともに低調である。
住関連専門店(営業担当)		・単価が低下したままで、来客数にも変化がない。	
高級レストラン(スタッフ)		・ゴールデンウィーク中の観光客の来客数はまずまずであるが、客単価がかなり低下している。	
高級レストラン(スタッフ)		・ランチ、ディナーとも前年並みに回復している。連休明けは厳しかったが、下旬には活気が出てきている。ただし、団体客の予約が少ないことから全体としては変わらない。	
通信会社(企画担当)		・携帯電話は例月並みの売上が続いており、販売状況に変化がない。	
住宅販売会社(営業担当)	・展示場への来客数がそれほど増加していない。住宅ローンへの申込、土地の動きともあまり変化がない。		
やや悪くなっている	商店街(代表者)	・休日の来客数が極端に減少している。	
	商店街(代表者)	・来客数が少しずつ減少している。客単価も依然として伸び悩んでいる。	
	商店街(代表者)	・これといった売れ筋がみつからなく、客の単品買いの傾向も続き、単価が依然として低下している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		スーパー（店長）	・来客数は微増傾向にあるが、競合店の影響等により、米の売上が不振である等、食品関連にやや陰りがみられる。	
		スーパー（企画担当）	・ゴールデンウィークのあった前半は例年並みであったが、後半は大型連休の反動もあり低迷している。来客数はある程度の水準にあるが、客単価の低迷で、売上が減少している。	
		スーパー（企画担当）	・一点単価、客単価ともに低下傾向であり、客の買い方が更にシビアになっている。	
		衣料品専門店（店員）	・来客数に変化はないが、売れ筋商品が夏物となったため客単価が低下し、売上が減少している。	
		一般レストラン（スタッフ）	・ゴールデンウィーク期間中の来客数が減少している。	
		タクシー運転手	・5月の乗車回数は、例年の3分の2である。	
		タクシー運転手	・気温の上昇とともに連休明け以降の乗車率低下が目立つ。特に繁華街の客が少なく、利用単価も低下している。	
		観光名所（役員）	・ゴールデンウィークもあり入込客数は微増であったが、消費単価が低迷しており、全体的にはやや悪い。	
		パチンコ店（店員）	・客単価が低下しており、売上が減少している。	
		住宅販売会社（従業員）	・来客数、販売量、受注関係が全体的に低迷している。	
		悪くなっている	百貨店（売場主任）	・来客数が減少している。また、カジュアル商品は紳士、婦人ともに売行きは良いが低単価の物が中心である。
	コンビニ（エリア担当）		・給料日直後は一般的に売上が増加するが、今月はそのような傾向がみられない。	
	衣料品専門店（店長）		・売出しをしたが、来客数が非常に減少しており、来場しても購入しない客が多い。	
	家電量販店（店長）		・単価が低下しており、販売件数も減少している。特に若い層の購入客が非常に減少しており、クレジットカード利用比率も悪化している。	
	乗用車販売店（従業員）		・イベントの来客数が極端に減少している。低価格車の売行きも良くない。	
	スナック（経営者）		・連休明けに少しは良くなると思ったが、今年の5月は過去に例がないほど売上が落ち込んでいる。	
	タクシー運転手		・地域全体のタクシーの利用回数が大幅に減少しており、前年同月比でみても減少している。春闘が終了したが賃上げをしたタクシー会社はなく、賃下げした会社さえある。	
	企業動向関連	良くなっている	-	-
		やや良くなっている	通信業（営業担当）	・4月も投資意欲がやや大きかったが、5月も継続して上向きの状況にある。
その他サービス業 [建設機械レンタル]（総務担当）			・機器の荷動きが良くなっており、客先からの情報も良好である。	
変わらない		食料品製造業（団体役員）	・水産加工業の受注の動きをみると、季節需要による変動はあるものの、全体的にみると変わらない。また、低価格を打ち出す量販店に購買が集中しているようである。	
		司法書士	・低金利であるが、住宅着工が低水準横ばいで推移している。	
		その他サービス業 [建設機械リース]（支店長）	・取引先で倒産による手形の不渡りが2件発生している。バブル期に大手ゼネコンから受注した仕事の代金回収をできない客が多い。	
	その他サービス業 [建設機械リース]（営業担当）	・仕事の情報や引き合いの件数が依然として増加しない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	やや悪くなっている	その他企業 [コンベンション担当] (従業員)	・催事件数はそこそこ良いが、消費単価が低迷しており全体の売上は横ばいである。
		輸送業 (支店長)	・運賃の値引き要求が厳しくなっている。中小企業に対する特別保証制度終了の余波で、客の商売も萎縮気味である。
		通信業 (営業担当)	・ネットワーク関連については設備投資の動きが少なく、商談も進展がない。
		金融業 (企画担当)	・設備投資が依然として低水準であり、投資マインドが冷え込んでいる。
		司法書士	・依然として不動産取引が低迷しており、土地の価格も下げ止まり状況である。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	・大手企業のコールセンターの北海道への立地等の明るい話題もあるが、全体的にみると変わらない。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・正社員の求人の伸びが鈍化しているものの、パート需要は多く、正社員需要の5、6倍はある。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・アルバイト、パート、派遣社員等の非正社員の採用は伸びているが、正社員の採用が減少している。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・札幌や旭川に大型家電業界の進出が目立つが、今のところ変化はない。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社 (編集者)	・正社員の求人広告は相変わらず増加しないうえに、臨時雇用の求人広告の伸び率が落ちてきている。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	・流通業、飲食業関係の女性パートの求人は増加しているが、地元の主要企業の求人はほとんどない。
		職業安定所 (職員)	・建設業の新規求人数が減少している。
		職業安定所 (職員)	・新規求人は増加しているが、パートの割合が上昇しており、雇用保険の被保険者数も減少傾向にある。
	悪くなっている	-	-

2. 東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店 [スポーツ用品] (総務担当)	・依然として一品単価は低下しているが、客の動きは良くなっている。
		百貨店 (企画担当)	・去年まで全く動かなかったミセス衣料が動いている。
		衣料品専門店 (経営者)	・天候不順で集客も少なかった3か月前よりは多少上向きになっている。
		その他専門店 [酒] (総務担当)	・好天候が続き、ビール類の売行きが良い。
		その他飲食 [そば] (経営者)	・単価は依然低いままであるが、来客数が増加しており、客の表情に以前のような暗さがない。 ・昨年までは近隣のオフィスビルで事務所の撤退が相次いでいたが、今は通りに面した事務所には空室がない状態で、にぎわいが出ている。
		タクシー運転手	・以前より客待ちや流しの時間が短くなっている。
		遊園地 (経営者)	・ゴールデンウィークの曜日配列が良く、天候にも恵まれ売上は対前年比を上回り、消費単価は前年水準を維持している。
		住宅販売会社 (従業員)	・客の動きや反応が良くなっている。 ・高額物件が動き出している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	一般小売店 [茶] (経営者)	・ 来客数、注文数、固定客の変動など全く無い状態である。
		一般小売店 [カメラ店] (店員)	・ 好天続きで現像やプリントの客は多いが、カメラなどのハードが売れず、全体では変わらない。
		百貨店 (売場主任)	・ 母の日は盛り上がったが、客単価が低く、エプロンでは対前年比で千円も下がっている。 ・ 安くともこだわり品を求める客が増えている。
		スーパー (経営者)	・ 専業主婦の買物動向調査をしたところ、その日必要な食料品だけを安い店で買い回る傾向が強まっている。 ・ 特売品は利益が上がらなくなるため、1人当たりの買上点数を限定するが、家族総出で買う客が増えている。
		スーパー (店長)	・ 来客数は増加しているが、客単価は更に低下している。
		スーパー (店長)	・ 来客数はやや増加しているが、一点単価と客単価が低下したままである。 ・ 今年はヤマセの影響が強く気温が低いいため、夏向け商品の動きが悪い。
		スーパー (店員)	・ 売上の低下幅が3か月前より緩和し、来客数の減少も鈍化しており、一進一退である。
		スーパー (企画担当)	・ 来客数の伸長が鈍り、客単価が更に低下しており、日替わりイベントなどで集客の工夫をしなければ売上はますます減少する。
		スーパー (総務担当)	・ 平均買上単価が2.5%低下しているが来客数に変化がない。 ・ 目玉商品などは売上を伸ばしているが、衝動買いの商品は売れない。
		衣料品専門店 (経営者)	・ 依然財布のひもは固く、必要なものを必要な時にだけ購入している。
		乗用車販売店 (経営者)	・ 販売台数と車検の売上は前年並みであるが、一般修理などの整備売上は10%増加している。
		乗用車販売店 (従業員)	・ 来客数が減少している。 ・ 新車を買えないため今の車を大事に乗るといった客が多い。
		乗用車販売店 (企画担当)	・ 3か月前は対前年比プラスであったが、その後はそのままの状態である。
		住関連専門店 (経営者)	・ 単価低下が続いているが、高額な商品が多少売れてきている。
		住関連専門店 (経営者)	・ 売上低迷状態が続き、客の購買意欲に変化がみられず、不景気に慣れてきている。
		その他専門店 [酒] (経営者)	・ 売上は前年水準に戻りつつあるが、依然買上単価の低下状況が改善されていない。
		高級レストラン (支配人)	・ 来客数は増加しているが、客単価が低く売上の増加に結び付かない。
		一般レストラン (経営者)	・ 客単価や客の低価格志向に変化がみられず、歯止めが掛からない状態である。
		一般レストラン (スタッフ)	・ 連休中に売上は増加したものの、連休後は売上が減少しており、3月と同水準の売上になると予想している。 ・ パート社員の獲得が難しくなっているが、社員として募集すると人は集まる。
		観光型ホテル (経営者)	・ 観光シーズンで多少活気はあるが、館内販売では売店のみが盛況で、入込数、売上は昨年並みである。 ・ 総会や高単価の視察旅行などが減少し、代わって高齢者や女性客が増え、宿泊単価や館内消費が伸びない。 ・ 日帰り企画商品が大当たりしている。 ・ 経営している3軒のホテルのうち、最高級の一泊5万円のホテルは売上の対前年比が10%増加しているが、残り2軒は並みかそれ以下である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況が昨年同様の推移で、客単価は依然低水準で推移している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・単価の下落に歯止めが掛からず、来客数も横ばいであり、対前年比でも変わらない。 ・比較的順調であった百貨店の惣菜販売にかげりが出てきている。
		旅行代理店（従業員）	・国内旅行は良いが、海外旅行は先行きが見えない。
		通信会社（営業担当）	・これまでは付き合いなどを考慮してもらえたが、最近では純粋に通話料の安い会社を選ぶ風潮が強まっており、悪い方向で横ばい状態である。
		競馬場（職員）	・ゴールデンウィーク中は客単価が上昇し、多少消費が活発化したものの、その後以前の状態に戻っている。
		住宅販売会社（従業員）	・ゴールデンウィーク後半は来客数が増加し、前向きに住宅取得を検討する態度であるが全体的には変わらない。
	やや悪くなっている	一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・価格低下だけでなく販売数量も減少傾向に入っている。
		百貨店（売場主任）	・給料日前の客の購買動向が落ち込んでいる。特に生活必需品以外の商品に対する落ち込みは著しい。
		スーパー（店長）	・競合各社のチラシ合戦も集客に結び付かず、バーゲンハンターを増やしているだけで、単価の下落が売上減少を招いている。
		スーパー（店長）	・低価格商品がますます客から支持されている。
		スーパー（経理担当）	・来客数や客単価の状況からみて、悪くなったままであるが、ここに来て更に下がりつつある。
		衣料品専門店（店長）	・客の低価格志向が更に強まり、買物でも上限枠を設けている。
		家電量販店（店長）	・大型商品が売れず、低価格志向が続き利益が出ない。 ・来店1回で購入を決めず何度も来店したり、競合店を数店回ったりしてから購入を決めている。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の受注ベースが対前年比で30%の減少である。
		乗用車販売店（経営者）	・例年5月は休日が多いながらも客に動きがあり、売上もあるが、今年は売上が減少し、来客数も減少している。
		乗用車販売店（営業担当）	・買い回りの客が多く、比較検討に時間がかかっている。
		乗用車販売店（営業担当）	・今までは現有車と同じ車への乗換えが多かったが、最近では予算に合わせた購入が増え、下位グレードへ乗り換える客が増えている。
		住関連専門店（経営者）	・目玉品や特徴のある少し高い商品は売れているが、普及品が売れないため、売上は減少している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・燃料油などの仕入コストが上昇する一方で、セルフスタンド進出による乱売で小売価格が低下し、マージンが圧縮している。
		観光型旅館（経営者）	・2月以来、対前年比マイナスの厳しい毎日であり、5月は一段と厳しい。
都市型ホテル（スタッフ）	・夏場の宴会件数、レストランの来客数が減少している。		
タクシー運転手	・利用者数が減少しており、客単価も低下している。 ・タクシーチケット利用者が減少している。		
悪くなっている	家電量販店（店長）	・来客数の減少が著しく、見物客が増えている。 ・クレジットローンでの購入が、低単価商品にも出ている。	
	住関連専門店（経営者）	・個人消費が一段落し、ボーナス商戦に向けての買い控えがみられる。 ・個人住宅の着工件数が対前年比マイナスであり、安い物件は動きがあるものの全体的には悪い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		一般レストラン（経営者）	・大型連休の後であり、外食回数や金額を抑制している。	
		観光型旅館（経営者）	・予約が減少し、宿泊単価が低下している。全体的にみても対前年比でも悪くなっている。	
		通信会社（営業担当）	・マイライン制度の開始に伴い、通信会社に対する料金面での要求が日増しに強まっている。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	-	-	
	変わらない	農林水産業（従業者）	・天候に恵まれ、りんご、桃は昨年以上の収穫が期待されるが、単価が期待できないため、変わらない。	
		食料品製造業（経営者）	・悪い状況がここ半年ほど変わらない。	
		食料品製造業（経営者）	・ゴールデンウィークの人出が多かったにもかかわらず、販売が伸びない。	
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・小泉内閣への期待はあるが、現実には値下げの話ばかりで、景気回復の兆しがない。	
		輸送業（経営者）	・その時々によって荷動きの波動はあるが、大きくは変わっていない。	
		通信業（企画担当）	・IT情報化施策は盛り上がっているが、ユーザーである企業が動かない。	
		金融業（営業担当）	・取引先は運転資金、設備資金などを最小限に抑えるようにしている。	
		広告代理店（従業員）	・採算を度外視した価格提示が続いている。	
		その他企業〔管理業〕（従業員）	・受注量の減少が続いているため、下請企業や子会社は赤字覚悟で低価格でも受注している状況である。	
		やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・スーパーからの値引き要請に加え、各種販促協力金の分率改定要請などで、収益性の低下が避けられず、企業努力ももはや限界にきている。
	木材木製品製造業（総務担当）		・住宅関係の着工数が低下し、建築資材に供給過剰感が出ている。	
	建設業（従業員）		・官民ともに物件受注に際しての価格競争がますます厳しくなっている。	
	建設業（企画担当）		・民間設備投資は、全般的に低迷化している。 ・地方都市の建設投資の冷え込みは官庁、民間ともに深刻な状況である。	
	輸送業（従業員）		・航空貨物の発着量の減少が続いている。	
	公認会計士		・地価下落により担保価値が下がり、金融機関では不良債権が増加し、この償却に苦慮している。	
	コピーサービス業（総務担当）		・やや悪くなっているというよりも停滞している状態である。 ・月前半から後半にかけて法人の購買意欲が更に減退している。	
	その他企業〔企画業〕（従業員）		・得意先から納入価格の見直し要求が強まっている。コスト削減に協力しなければ取引停止を持ち出される。	
	悪くなっている		繊維工業（営業担当）	・輸入品が増加し、業界全体で悪くなっている。
			繊維工業（総務担当）	・春夏衣料の生産が終了し、秋冬衣料の本格生産に入る時期であり、春夏衣料生産の最盛期であった3か月前に比べ出荷額が半減し、例年よりも受注量が減少している中、資金的にもつなぎ資金調達が必要であり、産地、業界ともに厳しい。
一般機械器具製造業（経理担当）		・やや円高傾向が始め、輸出産業は影響を受けている。 ・アメリカ経済の減速により、日本企業の自動車関連部品を中心に輸出が減少している。		
電気機械器具製造業（経営者）		・新規の受注の引き合い情報が途絶えている。 ・同業者の倒産が増えている。		
経営コンサルタント		・中小企業の多くで資金繰りが悪くなっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・年初からメーカー系の求人が止まっており、それに続く求人もないが3か月前との比較では変わらない。
		人材派遣会社（社員）	・派遣のオーダー数が減少し続けており、オーダー自体も社員の異動による補充であるなど、派遣自体が不安定になっている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人広告是对前年比での変化はないが、最近の傾向として製造業、建設業関連で求人頻度が落ちている。
		新聞社職員〔求人広告〕（担当者）	・倒産、休業、廃業の企業が増え、従業員とその地域の景気の悪化が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	・製造業を中心に不況感が強まり、派遣社員の契約打ち切りが続いている。
		人材派遣会社（社員）	・アルバイトへの切替えのため、派遣社員の契約更新が激減している。
		職業安定所（職員）	・県内で社員数300人規模の百貨店が倒産するなど、人員整理が高水準で発生し、事業主の求人意欲が減退している。
		職業安定所（職員）	・新規求人の増加率より新規求職者の増加率の方が大きい ため、求人倍率が低下している。 ・企業整備による解雇者数も高い水準である。
悪くなっている	職業安定所（職員）	・IT関連製造業の構内下請企業の離職者が増加し、それに連動して求職者が増加しているため、求人倍率が低下している。	
	職業安定所（職員）	・求職者数が増加し、求人数が減少している。 ・雇用保険受給者が増加し、求人倍率が低下している。	

3. 北関東

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	コンビニ（店長）	・店の裏に建築中のマンションがほぼ完成し、2月に近くのコンビニが閉店した影響で、売上が徐々に増加している。
		一般レストラン（店長）	・ランチは580円からあるが、安いメニューよりも、1480円のセットがよく出る。
		通信会社（営業主任）	・CATV、インターネットともに加入者数が増加している。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（従業員）	・ポイント制度やセール企画時には客の購買意欲があるが、通常時の客単価は低下しており、来客数も減少している。
		百貨店（販売促進担当）	・母の日ギフトの定番であるセーター、ブラウスの承り件数が目立って減少しており、消費は依然として低迷している。
		コンビニ（店長）	・季節の変わり目に出る新商品の動きは若干良いが、売上全体では変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・広告を入れても、動くのは目玉商品だけで、通常の価格帯の車には動きがない。
		通信会社（社員）	・携帯電話の販売数は伸び悩んでいる。
		ゴルフ場（支配人）	・土日の予約は良いが、平日の予約が少ない。
やや悪くなっている	設計事務所（所長）	・函面の受注件数がそれほど多くなく、変化がみられない。	
	商店街（代表者）	・来客数は減少、客単価も低下しており、かなり厳しい状況にある。	
	コンビニ（店長）	・連休中、日曜日の売上高が予想よりはるかに少なく、対前年比で大幅に落ち込んでいる。来客数も減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		衣料品専門店（販売担当）	・ゴールデンウィークの反動で、ほとんど買物をしない客が多く、通行人も買物袋を持っていない。
		乗用車販売店（従業員）	・決算期を過ぎ、来客数、成約台数とも極端に減少している。今後、各社で新型車が発売されるので、客は慎重になっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・婚礼、宿泊、宴会すべてにおいて、予約数が激減している。
		旅行代理店（従業員）	・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの受注があると予想していたが、実際にはあまりない状況である。
		設計事務所（所長）	・仕事量が減少している。
	悪くなっている	スナック（経営者）	・利用客が減少しており、客単価も低下してきている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	・引き合い、仕事量のいずれにも特段の変化はみられない。
	やや悪くなっている	プラスチック製品製造業（経営者）	・売上の確保が大変難しくなっている。 ・生産の海外シフトが急速に進んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・単価は低下し、仕事量が減少している。
		新聞販売店 [広告]（総務担当）	・チラシの出稿量は前年より約5%落ち込んでいる。新規出店はなく、閉店が目立つ状況である。
		経営コンサルタント	・新たな受注を獲得したり、売上を伸ばしたりしている企業もあるが、満足な業績の企業は全般的に多くない。
	悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・得意先に営業に行っても全く仕事がなく、逆に仕事を紹介して欲しいといわれる。 ・単価が非常に安く、中国に出す値段以下で受注してくれといわれる。
		建設業（総務担当）	・ゴルフ場関係では、経営が厳しいために設備投資がほとんどない。
	雇用 関連	良くなっている	-
やや良くなっている		学校 [短期大学]（就職担当）	・卸売・小売業で求人件数の増加が目立つ。
変わらない		求人情報誌製作会社（経営者）	・仕事の内容、発注状況が変わらない。
やや悪くなっている		人材派遣会社（経営者）	・鋼材関係では生産調整が続いており、雇用面も一進一退の状況である。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が減少し、新規求職者数は増加している。主として倒産、事業所の閉鎖、事業の縮小等による事業主都合の離職は、2倍以上に増加している。
悪くなっている		-	-

4. 南関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	一般小売店 [鞆・袋物]（従業員）	・単価が低下しているため、購買客数は増加している。余暇関連商品は売れないが、生活密着型商品は非常に好調である。
		百貨店（営業担当）	・デイリー食品関連が安定している。 ・婦人服、服飾雑貨など、婦人関連は好調に推移している。 ・紳士服、子供服にも下げ止まりの感がある。
		百貨店（広報担当）	・気温が高いため、婦人物を中心に、初夏物の動きが良くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		衣料品専門店（販売担当）	・5月は夏物衣料に一気に移行し、1人当たりの買上点数が増加して、客単価が高くなった。
		乗用車販売店（販売担当）	・来客数は減少気味であるが、販売量はやや増加している。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・客単価は2、3か月前とほぼ同じ状況にあるが、来客数が若干増加している。特に、スポーツ関連のサングラスが伸びている。
		一般レストラン（経営者）	・来客数、客単価にさほど変化はないが、ケータリングの仕事が少し増えているため、売上の増加につながっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・都内のホテルの売上が、前年同月等に比べて伸びている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門では、業況の良い企業、悪い企業の格差がはっきりしている。
		旅行代理店（従業員）	・団体旅行で動きは特にないものの、個人旅行で客の動きが相応にある。
		遊園地（職員）	・週末に定期的イベントを開催しているが、来場者が順調に推移している。
	変わらない	一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	・天気に恵まれて夏日も多く、春夏物の商品が品質の良い商品から売れた4月に比して、商店街の客は少し減少している。
		百貨店（副店長）	・生鮮関係は順調に推移している。 ・雑貨、衣料の高単価商品の動きは相変わらず鈍い。
		百貨店（売場主任）	・中旬までは、セールや優待を行っていたため、来客数が多く、売上も好調であったが、中旬以降の売上は低迷している。高額品の動きもあまり良くない。
		百貨店（営業担当）	・客単価の下落傾向には歯止めがかかったが、来客数が伸び悩み、売上は苦戦している。
		百貨店（営業企画担当）	・来客数は増加しているが、単価が上昇しない。
		百貨店（販売促進担当）	・食料品や身の回り品は安定した売上を維持し、来客数も好調である。 ・高額品の動きも一部活発化しているが、部門によって好不調の波があり、安定していない。
		百貨店（販売促進担当）	・食料品関係が好調である。 ・ファッション関連では、中高年の商品は売れているが、キャリアゾンの商品があまり良くない状況が続いている。
スーパー（経営者）	・客の購買行動が変わらず、商品を安くしないと売れなくなっている。		
スーパー（店長）	・食料品の売上は目標に達しているが、衣料品では目標を大幅に下回っている。特に、客単価の大幅な低下により売上が減少している。 ・家電リサイクル法施行前の駆け込み需要の反動で家電が不振である。インテリアでも不振が続いている。 ・雑貨、おもちゃ等は目標を達成している。		
衣料品専門店（店長）	・来客数が横ばいである。 ・客単価が大きく低下している。		
乗用車販売店（営業担当）	・ボーナスを当て込んでの自動車の購入が、相変わらず非常に少ない。		
乗用車販売店（総務担当）	・新車のイベントの来客数は、対前年比10%増加している。契約台数は7%増加しているものの、月間契約台数は11%の減少であり、月々の波が大きい。 ・中古車販売の来店客、契約台数は微増である。		
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（店長）	・各企業の経営努力にもかかわらず、努力しただけの差益が得られない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		高級レストラン（支配人）	・売上は昨年と変わらない。	
		旅行代理店（従業員）	・個人の宿泊、海外への航空券の申込が伸びる傾向は全くない。	
		通信会社（営業担当）	・ケーブルテレビの放送加入、インターネット加入数は、軟調に推移している。	
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・客の低価格志向は、相変わらず根強い。春先に行った料金改定から、更に値引きを求める要望が多数来ている。	
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・売上高は3か月前とほぼ同水準である。特別なヒット商品が1つ出れば上向き業界であるが、そういう商品も出ていない。	
		その他サービス [学習塾] (経営者)	・生徒数の伸びは3か月前と変わらない。	
		住宅販売会社（経営者）	・契約件数は3か月前と変わらない。客は相変わらず低価格志向で、話がまとまらない。	
		住宅販売会社（従業員）	・住宅金融公庫の融資受付期間中であるにもかかわらず、分譲地や展示場への来客数は横ばいであり、契約数も変わらない。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・人通りはそれほど減少していないものの、買物袋を持って帰る客は少ない。	
		百貨店（売場主任）	・特別の催事がある場合を除き、日売りの数字が確実に悪くなっている。	
		百貨店（企画担当）	・連休中のレジャー支出の増大の反動で、連休中の来客数が減少している。また、食品は好調を維持しているものの、天候不順により、婦人服、婦人雑貨の落ち込みが大きい。	
		スーパー（統括）	・客の低価格志向が広がっていて、売上が伸びない。	
		衣料品専門店（店員）	・来客数と客単価がともに下落傾向にある。	
		家電量販店（店長）	・3月の家電リサイクル法施行前の駆け込み需要でお金を使い切った感があり、客が買物に対して消極的になっている。	
		乗用車販売店（経営者）	・車の整備は順調に入ってきているが、販売は悪くなっている。	
		その他専門店 [燃料] (売場主任)	・連休後であるため、客はあまりお金を使わない。 ・洗車の客は、料金の安いところに移りつつある。	
		一般レストラン（経営者）	・連休明けは、夜の客が少なくなっている。	
		旅行代理店（従業員）	・法人の団体旅行、店頭での海外旅行の申込が極端に減少している。	
		美容室（経営者）	・例年は、暖かくなると理美容の仕事は良くなるのだが、今年は、回転サイクルが少し伸びていて、まだまだ良くなる気配がない。	
		設計事務所（所長）	・今年は、入札の指名が大幅に遅れている。物件数も毎年減少している。	
	悪くなっている	コンビニ（経営者）	・この10年で最悪の来客数、客単価となっている。	
		その他小売 [雑貨卸] (経営者)	・主力製品のフィルムの売上が減少しており、単価も急低下している。	
		スナック（経営者）	・来客数が減少し、一定時間を過ぎると、街にも人がいなくなる。	
	企業動向関連	良くなっている	-	-
		やや良くなっている	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・1年以上なかった会社設立に関する注文がこのところ多く入っている。その他にも会社設立が3件くらいある。
			化学工業（経営者）	・得意先のドラッグストア業界では、既存店の売上は前年割れであるが、低下幅は小さくなっているという話である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		建設業（総務担当）	・銀行の統合があちこちで起こった関係で、銀行の営業活動が活発になり、各企業で建設資金の手当が積極的に行われている。
		金融業（渉外担当）	・自動車業界を中心に、新規設備投資、研究開発費が前年を上回っている。
	変わらない	金属製品製造業（総務担当）	・依然として、売上が伸び悩んでいる。
		輸送業（営業担当）	・相変わらず仕事量が少なく、増える要素がない。
		通信業（営業担当）	・売上に大きな変化がない。
		金融業（審査担当）	・設備資金の需要が依然として低迷している。
		不動産業（総務担当）	・日々の業況は良くなっていないが、客の話題が明るくなっている。
	やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・取引先の様子をみても、良くないという話が非常に多い。
		電気機械器具製造業（経営者）	・5月の売上は今年最低で、5月の売上としては過去5年間で最低となっている。
		その他サービス業 [情報サービス] (従業員)	・IT関連の設備投資については、今年度では予算がつかず、来年度に繰延べとなるユーザーが増加している。
		その他サービス業 [廃棄物処理] (経営者)	・客からの値下げ要請、客の廃業が数件ある。 ・相変わらず、同業他社との価格競争が厳しい。
	悪くなっている	プラスチック製品製造業（経営者）	・受注量が相当減少している。取引先に確認しても、物の動きが少ないという話が多い。
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注が減少している。
	雇用関連	良くなっている	-
やや良くなっている		学校 [専門学校] (教務担当)	・SEプログラマー、システムエンジニアの求人数は、相変わらず多い。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・3か月前の若干悪い状態が変わらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・外資系金融の求人が一巡し、大企業を中心とした日系企業がカバーする展開となっている。
		学校 [専修学校] (就職担当)	・新規の採用計画等、特に新しい話はなく、未定企業は未定のままで、特に変わらない。
やや悪くなっている		人材派遣会社（社員）	・長期契約の受注が少ない。 ・経費節減のため、契約の中途解除が発生している。
		職業安定所（職員）	・一般もパートタイムも、引き続き求人数が減少している。情報処理関係では求人数が減少するとともに、採用の基準が高く、採用に至らない例が多くなっている。
	職業安定所（職員）	・常用からパートへの雇用のシフトにより、パート求人が対前年比較でも堅調に推移している反面、IT関連製造業を中心に、常用求人の鈍化傾向が著しい。 ・新規求職者が増加傾向にある。新規求職者に対する非自発的離職者の割合が、依然として高水準で推移している。	
悪くなっている	-	-	

5. 東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	商店街（代表者）	・新しい業界の新製品を入れて、客足が良くなっている。
	やや良くなっている	一般小売店 [土産] (経営者)	・低単価商品が数多く売れるようになってきている。
		百貨店（企画担当）	・来客数の減少や客単価の低下は厳しいが、購買客数は前年を上回り、外商売上も回復傾向にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		百貨店（企画担当）	・宝飾品などの高額品が比較的好調で、客単価が前年より上昇している。
		スーパー（店長）	・ゴールデンウィーク期間中の来客数、売上が好調で、月を通しての数字も確実に上昇してきている。 ・割安感や買い得感を追求する消費傾向に変化はないものの、客単価の上昇は顕著であり、堅実な買物が定着してきている。
		スーパー（店長）	・販売点数が昨年より増加している。商品単価も昨年並みになってきており、商品単価に下げ止まり感が出てきている。
		コンビニ（エリア担当）	・売上の前年割れ店舗が減少している。
		衣料品専門店（店員）	・3か月前は6週間続けて来客数が対前年比を下回っていたが、最近になり少し上回るようになってきている。
		家電量販店（店員）	・客足が戻ってきており、客は1、2個余分に商品を買うようになってきている。
		乗用車販売店（営業担当）	・受注台数が増加している。
		テーマパーク（職員）	・今までは天気が良くても客の入りは悪かったが、最近では天気が良い日の来客数は増加してきている。
		住宅販売会社（従業員）	・分譲マンションの6月末までの入居が数多く見受けられる。
		変わらない	百貨店（店員）
	スーパー（店員）		・旬の商品が出回っているが、一定の値段以上の物は売れない。旬の物だからと少々高くても買うのではなく、値段に合わせて買物をする状況が見受けられる。
	コンビニ（エリア担当）		・弁当も安い商品から売れてゆく状況で、客単価が低下している。
	乗用車販売店（経営者）		・来客数、販売台数は5月中旬以降やや増加しているが、連続性、安定性に欠けている。
	乗用車販売店（総務担当）		・客の来店状況にあまり変化はないが、商談に結び付くまでにやや時間がかかる。
	高級レストラン（スタッフ）		・売上は維持しているが、イベントメニューの開発、一品料理の推奨、常連客への外食活動の強化等、営業努力によるものであり、景気の上昇に伴うものではない。
	スナック（経営者）		・来客数はまずまずだが、料金の割引を求める客が多い。
	都市型ホテル（スタッフ）		・ゴールデンウィークの売上が昨年並みである。
	テーマパーク（職員）		・レジャーの「安近短」の傾向が強いことから、家族の入園割合が増え、食事も弁当持参で、飲食、土産の消費が抑えられている。
	ゴルフ場（企画担当）		・来客数は横ばいである。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅の契約は、ほぼ横ばいが続いている。	
やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・母の日は例年ワインや花を買う人が多かったが、今年は来客数が少なく売上も半分ほどである。	
	コンビニ（店長）	・1人当たりの買上個数が5%も落ち込んでおり、売上減少の最大要因となっている。	
	乗用車販売店（従業員）	・顧客からの値引き条件がだんだん厳しくなり単価が伸びず、販売量も伸び悩んでいる。	
	住関連専門店（店員）	・高い物件を購入する客が少なく、客単価が低下している。	
	タクシー運転手	・走行距離に対する客の乗車率が低く、また1回乗車当たりの売上金額が低い。	
	通信会社（営業担当）	・携帯電話の販売台数が20%程度落ち込んでいる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		設計事務所（営業担当）	・発注案件数が減少しており、案件の規模も小さくなってきている。
		住宅販売会社（企画担当）	・建売分譲の契約数が、5月は毎月の半分にも達していない。
	悪くなっている	乗用車販売店（経営者）	・車検台数が通常の3分の2程度になっている。
	設計事務所（経営者）	・仕事量が減少している。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（工務担当）	・自動車市場が好調で、ラインの負荷が高い。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・受注内容のロットが細かく、納期や価格の交渉も厳しくなっている。
		電気機械器具製造業	・工業ミシンの展示会の入場者が、昨年より約20%減少している。
		輸送業（エリア担当）	・貨物量が例年と比べて伸び悩んでいる。
		金融業（企画担当）	・勝ち組と負け組の差がはっきりしてきており、特に中小企業が厳しい状況となっている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・商品は動いているが、価格だけで購買が決まり、商品の流れが細くて弱い。
		化学工業（総務担当）	・家電メーカーからの受注量が、最近かなり減少している。海外に生産拠点を移す影響ではないかと考えている。
		建設業（企画担当）	・大型工事物件もほとんどなく、物件の規模が小型化しているため、仕事量が少なくなっている。
		輸送業（エリア担当）	・ゴールデンウィーク明けから荷物の動きが特に悪くなっている。荷物の減少している業者が運賃を値引きして仕事を確保するといったケースもみられる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・2か月連続で折込チラシが減少している。
	悪くなっている	-	-
	雇用 関連	良くなっている	-
やや良くなっている		人材派遣会社（社員）	・通信、金融、サービス関連の雇用の需要増加が継続している。
		学校〔大学〕（就職担当）	・中小企業の求人意欲が明らかに高まっている。
変わらない		求人情報誌製作会社（編集者）	・正社員、アルバイトの求人件数に変動はない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告の申込件数は対前年比115%前後になっており、来春新卒者の採用意欲もおう盛である。 ・生産拠点の海外移転が進んでいるためか、愛知県西部を中心に業務請負の求人数が目に見えて減少している。
やや悪くなっている		人材派遣会社（社員）	・新規募集している派遣スタッフのなかで、会社都合でリストラされたり休職になったりする人が目立つようになってきている。
		人材派遣会社（社員）	・投資の圧縮やコスト削減をしている企業が増え、注文が減少しつつある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告件数は、名古屋は横ばいだが岐阜、三重、三河地方は前年を割り込んでいる。
悪くなっている		職業安定所（職員）	・求職者が急増し有効求職者数が過去最高となっている一方で、順調に増加していた求人数は製造業からの求人が減少したために伸びが急激に鈍化している。

6 . 北陸

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	コンビニ(経営者) 設計事務所(職員)	・来客数が増加し、客の購買態度にも明るさがみられる。 ・3か月前は受注する案件もなく、客の動きもほとんど感じられなかったが、今月は仕事が動き出すとともに受注も取れている。
	変わらない	商店街(代表者)	・売上が増加傾向にあるが、引き続き消費者に節約ムードを感じる。
		一般小売店[精肉](経営者)	・依然売上は低迷し、高額商品の販売に苦慮しているが、客単価や来客数はほぼ変わらない。
		百貨店(営業担当)	・必要な物だけを十分に吟味してから買うという客の購買態度は変わらない。
		百貨店(営業担当)	・引き続き客単価は前年を下回っており、またセール品以外の商品の売行きは良くない。
		スーパー(店長)	・食料品の売上は比較的安定しており、客単価、買上点数も横ばいである。 ・衣料品は一部に売れ筋があるものの、客単価は低下し、買上点数や売上は増加しない。客は割引の時にしか買わず、買うか買わないか迷った時は、まず買わない傾向にある。
		スーパー(店長)	・来客数は増加傾向であるが、客単価の低下傾向が止まらない。
		コンビニ(エリア担当)	・客は相変わらず低価格志向で、ビールから発泡酒に流れている。
		衣料品専門店(経営者)	・売上がある程度落ち込んでしまっているため、徐々に下げ止まり感が出ているが、客の購買態度は相変わらず消極的である。
		乗用車販売店(経理担当)	・相次いで新型車が発売されたため、受注台数は増加している。しかし、来場者はそれほどでなく、盛り上がりが見えない。
		乗用車販売店(総務担当)	・先月に引き続き、来客数は例年以上に伸び悩んでいる。新型車の発売を前にした商談締結も、いつも以上に時間がかかっており、客の動きは慎重である。
		乗用車販売店(営業担当)	・大衆車の売行きも来客数の動きにもあまり変化がない。
		住関連専門店(店長)	・インテリア小物類の来客数は若干回復しているが、大物家具の来客数が増加せず、売上は横ばい状態である。
		その他専門店[酒](経営者)	・日本酒では高級酒は若干売れるが、普通酒が売れない。ビールよりは発泡酒が売れる。
		その他専門店[医薬品](営業担当)	・買上点数や商品内容にあまり変化がない。また、必需品でない遊びの商品の動きがまだみられない。
	一般レストラン(店長)	・客単価は上昇しているが、来客数が減少している。	
	通信会社(社員)	・新サービスや料金値下げのメニューを提供しても、それに見合うだけの携帯端末台数の増加が見込めない。	
	やや悪くなっている	一般小売店[鮮魚](店長)	・客の来店頻度は高くなっているが、特売商品しか売れず、特売商品でも少々安いくらいでは売れない。また、今必要でない物、安いから買い置きしておけばよいと思われる物も、売れなくなっている。
		百貨店(売場主任)	・来客数が減少し、客単価も低下している。
百貨店(営業担当)		・リストラされたとみられる男性客が、以前より多く見受けられる。	
衣料品専門店(経理担当)		・低価格志向が続き、来客数が減少している。	
家電量販店(店長)		・パソコンや大型カラーテレビなどの高額商品を中心に、来客数の減少が顕著である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		乗用車販売店（経営者）	・受注量や商談件数が一段と減少傾向にある。
		高級レストラン（スタッフ）	・予約、フリー客ともに減少している。
		一般レストラン（店長）	・当店では有効期間が月末までのサービス券を発行しており、通常は月末に利用客が増加する。しかし、最近ではその利用客も従来の3割減となっている。
		観光型旅館（スタッフ）	・宿泊の実績は3月まで前年を上回っていたが、4、5月は前年を下回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊客数、一般宴会件数の減少及び平均客単価の低下などにより、減収となっている。
		タクシー運転手	・夜の繁華街の人出は少なく、帰宅時間も早いため、タクシー利用客も減少している。
		競輪場（職員）	・来場者数は変わらないが、1人当たりの車券購入金額が減少し、売上高がますます減少している。
		住宅販売会社（従業員）	・5月の連休明けから展示場の来場者数が激減し、ゼロに近い状況である。個別の訪問先での商談では積極的な反応を示す客もいるが、決断を先送りするケースが多くなっている。
	悪くなっている	スナック（経営者）	・5月は大型連休もあり、年間でも悪い月であるが、今年は特に静まりかえっている。来店客の会話の中に「仕事がなくなってきた」「遊んでいる」などの話がぼつぼつ増えている。
		タクシー運転手	・連休が終わっても街や飲食街の人出は少なく、いつもの活気が戻ってこない。
テーマパーク（職員）		・集客面では大口団体や募集物を中心に、予約が大幅に減少している。また、個人、グループも減少気味で、トータルでは対前年比で1割以上の減少となっている。 ・消費単価も最近急に低下している。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	通信業（営業担当）	・携帯電話のメール利用は順調に伸びているが、料金割引などの問い合わせが増加している。
		不動産業（営業担当）	・宅地造成用の土地の供給は増加しているが、個人所得の低迷から予定通り売却できず、価格競争が一段と厳しい。売れ残りも目立つ。
		司法書士	・解散のための会社資産の処理方法や債権回収の方法など、相変わらず不景気の状態を反映する相談が多い。
	やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	・販売単価が平均2～3%低下している。
		化学工業（営業担当）	・ドラッグストア等の冷却剤の店頭価格がここ1、2か月間でかなり下落している。その分だけ、仕入価格を安くして欲しいという要求があり、ほとんど製造原価に近い価格で供給している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・3月から5月にかけて、北米マーケットの受注が激減している。
		精密機械器具製造業（経営者）	・近隣で、リストラにより失業者が増えている具体的なケースが何件もみられる。 ・同業者の倒産が目立って増加し、直接被害を受けた会社の連鎖倒産が心配される。
		輸送業（配車担当）	・荷物の量が減少し、受注単価も低下している。
悪くなっている	金属製品製造業（経理担当）	・受注量が減少し、再三にわたって単価の引下げ要請がある。	
	建設業（経営者）	・取引先企業で倒産が予想される先が多くある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	民間職業紹介機関（経営者）	・相変わらず企業からの求人が少なく、雇用のミスマッチも依然として生じている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新卒者の求人票の到着状況は、県内で10%減少、県外で15%増加しており、地元企業、特に大手企業で停滞している。一方、女子学生に対する求人の厳しさは変わっていない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	・受注ベースの数字はそれほど減少していないが、先方が当方から提示した候補者を採用する最終段階で、再度慎重な検討を加えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告の掲載件数がやや落ち込んでいる。
		職業安定所（職員）	・求人全体が少し鈍化している。大企業のリストラが本格化するなかで、企業整備が増加している。その結果、業務の簡素化、効率化を目的とした組織、部門の統廃合により、離職者が増加している。
悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・製造業を中心とした求人の後退傾向が、全体に広がってきている。	

7. 近畿

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	都市型ホテル（支配人）	・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが開業し、宿泊関係を中心に非常に多くの客が来店している。レストラン部門も好調である。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・来客数は変わらないが、売上は増加している。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・わずかだが来客数が増加し、売上が増加している。特に婦人服の売上が増加している。
		コンビニ（店長）	・来客数が増加し、売上も伸びている。
		一般レストラン（経営者）	・売上がわずかながら増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・東アジア競技大会、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの効果によって宿泊、宴会ともやや好調である。
		旅行代理店（店長）	・国内旅行はゴルフバック、ロング方面の北海道が好調で、東京ディズニーランドも順調に受注が入り、国内旅行全体を押し上げている。 ・海外旅行はOLの来店がやや増加し、夕方がにぎわっている。 ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのチケットは相変わらず好調である。
	変わらない	住宅販売会社（従業員）	・売上はあまり増加していないが、契約は増加している。
		商店街（代表者）	・売上、客の動向などが変わらない。
		商店街（代表者）	・来客数及び1人当たりの購買力が変わらない。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・客単価と来客数に変化がない。
		百貨店（売場主任）	・来客数は減少していないが、売上は増加したり減少したりしている。
		百貨店（売場主任）	・低額なワインや焼酎は動いているが、高額ワイン等の動きが非常に鈍い。
		百貨店（売場主任）	・来客数が相変わらず前年を下回っている。
百貨店（売場主任）		・ヤング層の財布のひもが固い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		スーパー（経営者）	・ゴールデンウィークの後で、一段と家計の財布のひもが固くなっている。客は無駄な物は一切買わず、あちこちのスーパーの特売品で献立を構成している。	
		スーパー（店長）	・価格訴求の要求がますます強くなっている。衣料2割引を中心とする特別招待会でしか売れず、この種の機会が各社とも増加している。	
		スーパー（経理担当）	・依然、商品の単価は低下し、買上点数も伸びず、客は無駄な買物をしない。	
		スーパー（経理担当）	・既存店売上の前年比が変わらない。	
		スーパー（経理担当）	・消費者の買い回り頻度が低下しているのか、来客数は減少している。単価の上昇によって現状を維持している。	
		コンビニ（店長）	・1日当たりの平均売上額が変わらない。	
		コンビニ（店長）	・客単価が低下し、売上が増加しないままである。	
		家電量販店（店員）	・新製品は出たが、来客数はあまり増加していない。	
		乗用車販売店（営業担当）	・3か月前は決算需要を見込み、それを掘り起こしていたが、最近ではボーナス需要を喚起せねばならないがうまくいっていない。	
		自動車備品販売店（従業員）	・引き続き目標より来客数は減少傾向、客単価は低下傾向で推移している。	
		高級レストラン（支配人）	・売上が変わらない。	
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数の減少には歯止めがかかったようだが、相変わらず客単価は上昇していない。	
		観光型旅館（団体役員）	・客単価の低迷を集客増で補い、現状を維持している。	
		都市型ホテル（支配人）	・宿泊客は増加傾向にあるが、レストラン、一般部門の客足が伸びない。月初の連休の影響もあるが、客単価は依然低迷している。	
		旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークの反動からか、受注が伸び悩んでいる。特に海外旅行は各社安い商品を出しているが、思ったように伸びていない。	
		観光名所（経理担当）	・来客数はわずかに増加しているが、売上が増加しない状態が続いている。	
		競輪場（職員）	・来客数、売上があまり変わらない。	
		その他レジャー施設 [球場] (企画担当)	・ゴールデンウィークは非常に天候も良く、人出もあり、客単価も上昇したが、その他の時期は例年より低めにとどまっている。	
		美容室（店長）	・新規の客が増加しない。	
		その他サービス [ビデオ・CDレンタル] (エリア担当)	・商品の品ぞろえに大きな動きがなく、客の動きも大きな変化は見られない。	
		住宅販売会社（営業担当）	・客からの引き合いは多いが、受注数はあまり伸びず慎重である。	
		やや悪くなっている	一般小売店 [野菜] (店長)	・相変わらず客は安い物しか買わず、食堂など商品を卸している先も量が増加しない。
			スーパー（店長）	・来客数は昨年に比べわずかに増加しているが、客単価、買上点数が大幅に悪化している。
			乗用車販売店（経営者）	・来客数が少なく、来店しても受注までに時間がかかる。客は高額車の商談に乗ってこない。
			乗用車販売店（営業担当）	・車を手放す人や小型車への乗換えが増加している。
			その他専門店 [ゴルフ用品] (経営者)	・耐久品、消耗品、単価、来客数とも若干悪化傾向である。
			スナック（経営者）	・客である喫茶店のオーナーが、店の暇が続き、680円の定食をやめコーヒー抜きの380円の定食を出すと、定食だけを取ってコーヒーは外で缶コーヒーを飲む客が多いとのことである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		タクシー運転手	・営業で回っていても、客の絶対数が減少している。	
		住宅販売会社（従業員）	・期待していたゴールデンウィーク期間中の来場者数も極めて低調で空振りに終わり、成約に至る率も低下している。	
	悪くなっている	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・客の広告やチラシに対する反応がますます鈍く、客単価も非常に低い。	
		遊園地（経営者）	・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに団体客が流れているため、来場者数が減少しており、1人当たりの消費単価も低下している。	
企業動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業（経営者）	・受注数、客からの問い合わせが増加している。	
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・荷動きの変化があまりない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・引き合いはあるが、設備計画は遅延しているようである。	
	輸送業（経営者）	・輸送業者の選別が始まっており、整理統合が始まっている。物量はあまり増加していない。		
	輸送業（総務担当）	・物流はあまり変わらない。		
	広告代理店（従業員）	・広告費のなかでも特にセルフプロモーション関係、制作費、印刷費、装飾費の値引き要請が強い。		
	経営コンサルタント	・6か月先までの受注も非常に安定している。		
	経営コンサルタント	・顧問先のスーパーマーケットなどでは、来客数は増加しているが、売価が低下しており変わらない。		
	やや悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	・受注単価が下落している。また、数量を減らす客が増加している。	
		輸送業（営業所長）	・全体的に荷動きが悪く、特に繊維関係の動きが悪い。	
		金融業（支店長）	・取引先の売上が全体的に減少傾向である。	
		広告代理店（営業担当）	・新聞広告にばらつきが出ており、良い広告面は売れているが、あまり良くない広告面は空きが出ている。	
	悪くなっている	司法書士	・今月は事件数も少なかったが、事業の縮小や整理など後ろ向きのもが目立っている。	
		繊維工業（団体職員）	・急激な輸入増の影響によって需要が激減している。	
		金属製品製造業（営業担当）	・売上が激減している。	
	雇用関連	良くなっている	-	-
		やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・人材派遣の申込範囲が幅広くなり、あらゆる職種に対して注文が増加している。
		変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人する会社が減少している。広告出稿量もやや悪い状態で推移している。
		やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	・新年度に入りIT部門の需要が若干弱くなっている。
求人情報誌製作会社（編集者）			・求人数の業種間、会社間の格差が徐々に拡大している。	
職業安定所（職員）			・求人ではサービス業が好調を継続しているものの、製造業や建設業は振るわず、条件を見ても厳しいものが多い。また、求職者の増加傾向が続いている。	
職業安定所（職員）			・新規求人数は横ばい傾向であるが、新規求職者の急増による求人倍率の低下が見られる。	
悪くなっている		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告が99年8月以降降始めて前年同月を下回った。	

8 . 中国

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなっている	一般レストラン(店 長)	・観光施設の充実により来客数が増加している。		
		一般レストラン(店 長)	・ゴールデンウィーク時は非常に良く売れ、例年に比べて 売上は7、8%増加、客単価は50円上昇しており、客の顔 が明るくなっている。		
やや良 くな っている	やや良 くな っている	百貨店(営業担当)	・紳士服は売れないが、婦人服は調子が良く、他のアイテ ムは順調に推移している。また、ブランド品は相変わらず 順調である。		
		百貨店(売場担当)	・慎重な商品選びをするミセス層の客が、友人を大勢連れ て来店することが多くなっている。 ・ヤングを中心にサンダルの売上が好調である。		
		コンビニ(エリア担 当)	・客の買上点数には変化がないが、来店頻度が高くなっ ている。		
		衣料品専門店(地域 ブロック長)	・夏物が売れている。		
		乗用車販売店(従業 員)	・購入状況に変化はないが、来客数は増加している。		
		その他専門店[書籍] (店員)	・購入量は伸びており、客に購買意欲がある。		
		都市型ホテル(スタ ッフ)	・休日のレストラン利用者が増えている。特に母の日が多 くなっている。		
		テーマパーク(職員)	・ゴールデンウィークの入場者数は予想通りに推移してい る。客単価も回復傾向にあり、学校関係の入場者数も大幅 に増加している。		
		ゴルフ場(従業員)	・ゴールデンウィークの影響で来場者が増加している。		
		住宅販売会社(経 理担当)	・全体的にマンションの売行きに変化はないが、今月発売 した高額物件の売行きが順調である。		
		変わらない	変わらない	商店街(代表者)	・来客数、金額等に大きな変化がない。
				一般小売店[菓子] (経営者)	・来客数に変化はないが、客単価が20%ほど低下している。
				百貨店(売場担当)	・ゴールデンウィークの来客数は20%増加しているが、売 上は5%しか伸びない。 ・好評であった婦人服が落ち着いてきた代わりに、紳士服 や家庭用品などが増加している。
スーパー(店長)	・来客数の減少はないが、客は価格に対して厳しく、低価 格志向が続いている。				
スーパー(店長)	・来客数と買上点数はほとんど変わらないが、客単価が 2.5%低下している。				
コンビニ(経営者)	・客単価は低下しているが、例年の傾向である。				
コンビニ(エリア担 当)	・低価格のおにぎりや弁当の販売は好調だが、単価が低い ため売上にさほどの影響はない。				
衣料品専門店(店長)	・客単価が上昇せず、低価格志向が続いている。客のニー ズは低価格一本である。				
乗用車販売店(店長)	・商談発生件数、展示会来客数ともあまり変化がみられな い。				
自動車備品販売店 (店長)	・来客数に変化がなく、客単価も良くない。				
高級レストラン(スタ ッフ)	・客単価が低下しており、予約も好ましくない状況が続い ている。				
観光型ホテル(スタ ッフ)	・市場の低価格化が進んでおり、売上が落ち込んでいる。				
タクシー運転手	・ゴールデンウィークは例年より売上が減少している。 ・美術館のオープンに景気回復への期待が集まったが、宣 伝が少ないため入館者も少なく、至って好ましくない結果 となっている。				

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		パチンコ店(企画担当)	・競争は激化しているが、市場規模には変化がなく、全体的には変わらない。
		競艇場(職員)	・来客数が減少しており、売場を半分ぐらい閉鎖している。
		美容室(経営者)	・ゴールデンウィーク中は売上が増加しているものの、その後は減少している。
		住宅販売会社(従業員)	・リストラや賃金カットで解約する客がある。
	やや悪くなっている	一般小売店[土産](経営者)	・来客数が減少し、出先の売上もかなり減少している。
		スーパー(店長)	・前半は大型連休で、客単価、来客数ともに良いものの、中旬以降は客単価が96%にまで低下しており、厳しい状況が続いている。
		家電量販店(企画担当)	・家電リサイクル法施行による反動の影響が、思った以上に長引いている。
		乗用車販売店(統括)	・3か月前の期末セールスの反動から悪くなっている。
		住関連専門店(広告企画担当)	・小売店相手の新作発表会では来場者数が非常に少なく、買い控えがまだまだ続いている。
		その他専門店[贈答品](店員)	・例年なら6月に向けてプライダル関係が良くなるはずなのに落ち込んでいる。秋に向けた結婚式関係の売上も落ち込んでいる。
		観光型ホテル(スタッフ)	・団体客が少なくなって個人客が集中しているが、客単価が低下している。
		タクシー運転手	・ゴールデンウィーク中は例年と変わらないが、その後は夕方から深夜にかけての利用が少ない。
	悪くなっている	通信会社(社員)	・来客数、加入数が減少している。
		一般小売店[酒](経営者)	・人通りも少なく、完全にお手上げ状態であり、悪い。
		家電量販店(副店長)	・OA商品、AV商品すべてにおいて例年を割っている。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	金属製品製造業(総務担当)	・受注状況は依然として厳しいものがあるが、それでも売上は少し上向いている。
		輸送用機械器具製造業(経理担当)	・主要な客の注文が予定を上回っている。また、新しい引き合いが続いている。
		輸送業(営業担当)	・広島地下街オープンで、物流でも荷動きが活発化している。
	変わらない	一般機械器具製造業(総務担当)	・受注状況に変化がない。
		電気機械器具製造業(広報担当)	・価格、売上数量等に変化がない。
		建設業(営業担当)	・例年に比べて公共工事の発注が6割程度になってきている。
		通信業(営業担当)	・受注の状況が全く変わってない。 ・全国規模の企業は通信ネットワークのリストラで統合や再編が続いている。
		広告代理店(営業担当)	・全体的に求人広告の出稿が相変わらず不調である。
	やや悪くなっている	建設業(経営者)	・仕事のない待機者が例年になく増えている。
悪くなっている	窯業・土石製品製造業(営業担当)	・最大顧客の高炉メーカーにおいて、依然として受注量の減少が続いていること、更に新規顧客である電子部品メーカーからの受注量も大幅に落ち込んできていることなどから、悪い状況が続いている。	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	職業安定所（職員）	・求人数は横ばいで、求職者数は増加しているが、年度替わりによる期間満了や定年退職者によるものであり、リストラによるものは少し落ち着きをみせている。
		民間職業紹介機関（職員）	・企業から来る求人情報に変化がみられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業の新卒採用状況に変化がない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	・人材派遣は堅調であり、売上は増加しているが、企業の派遣人員の活用には厳しさがああり、コア人材が中心である。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・先行きの不透明感から採用を一段と控えるところが出てきている。
		職業安定所（職員）	・製造業はアメリカへの輸出が不振で、月間有効求人倍率も低下している。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・IT関連を除けば求人広告も依然低調である。

9. 四国

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・3か月前は、10支店全部売上がマイナスを計上していたが、今月は3店が前期比プラスとなっている。
		スーパー（店長）	・来客数、平均単価とも、3か月前と比べて5ポイントほど改善している。
		ゴルフ場（従業員）	・飲食単価が若干上昇している。
	変わらない	美容室（経営者）	・来客数が約20%増加している。
		商店街（代表者）	・客の動向、単価、意欲ともに底を打ってきている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・母の日という1年間でも一番忙しい時期だったが、客単価が上がらず、何とか量をこなして例年の売上を維持している。
		百貨店（営業担当）	・客の購入意欲に特に変化はみられない。
		百貨店（営業担当）	・必需品以外は買わないという状況が続いている。
		百貨店（企画担当）	・高額品の販売は上向いていないが、バーゲン品等は堅実に動いている。
		スーパー（店長）	・この2、3か月、同じような悪さで売上、来客数が推移している。
		スーパー（店長）	・客単価は低下し、来客数は減少しているものの安定している。
		スーパー（総括担当）	・既存店では、売上が対前年比92%程度という状況が続いている。
		衣料品専門店（店長）	・低価格商品は良いが、高額商品がなかなか売れない。
		乗用車販売店（営業担当）	・土日のフェアの来客数に、あまり変化がない。
		乗用車販売店（営業担当）	・修理の申込が対前年比マイナスという状況が続いている。
	通信会社（総務担当）	・通信コストを節減しようとする動きが、法人、個人とも続いている。	
	観光名所（経営者）	・来客数の減少が続いたままである。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅価格が低下したままである。	
	やや悪くなっている	一般小売店〔乾物〕（店員）	・入っているビルのテナントが次々に撤退し、客足も非常にまばらである。
衣料品専門店（経営者）		・必要な物がある時だけ買物に来るといった状態で、客単価は低下し、来客数は減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		家電量販店（店長）	・家電リサイクル法対象施行前の駆け込み需要の反動減に加え、他の商品の平均単価が悪くなった。
		スナック（経営者）	・接待客が減っている。
		観光型旅館（経営者）	・飲物等もあまり飲まず、消費が低迷し節約ムードが一段と強まっている。
		旅行代理店（経営者）	・企業の業績が思わしくないため、慰安旅行、招待旅行を、中止したり先送りする会社が多く、大幅に受注が落ち込んでいる。
		タクシー運転手	・昼夜とも客を乗せて走る回数が減っており、長距離も少なく客単価が落ち込んでいる。
		観光名所（職員）	・観光客の来場者数が減少傾向にある。
	悪くなっている	百貨店（売場主任）	・土日の集客が少なくなっており、全体で20%程度の来客数の減少が続いている。
		コンビニ（経営者）	・建設業の客がかなり減っており、リストラが続いて仕事がないという話を聞いている。 ・買上点数が前年の90%以下で、来客数も約5%減少している。
		タクシー運転手	・行楽客もマイカー及びバスの利用が多く、タクシー利用は少ない。
		通信会社（企画担当）	・携帯電話の販売がかなり落ち込んでいる。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・食品関係の需要が多い。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・同業のメーカーの再編が続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・油圧クレーンの登録台数は、6か月連続前年割れとなっているが、小型クレーンは前期比プラスとなっており、底を打っている。
	やや悪くなっている	農林水産業（販売担当）	・山間地域にも景気の低迷の影響が浸透している。
		建設業（経営者）	・受注額が低下しており、赤字覚悟でなければ仕事が取れない。
		輸送業（支店長）	・運賃の値下げを要請してくる企業も一部見受けられる。
		金融業（融資担当）	・決算の発表では、前年度よりも業績が悪い企業が大半である。
		広告代理店（経営者）	・求人広告は急ブレーキがかかった感じであり、特に工場労働者派遣業が顕著である。
	悪くなっている	家具製造業（営業担当）	・近畿以西の荷動きが特に悪く、関東方面に営業をシフトしようとする声もある。
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・社員の転勤、あるいは退職の補充に派遣を採用するケースが依然として多い。
		職業安定所（職員）	・事業主の都合による解雇は減っていない。
		職業安定所（職員）	・求職者の増加、求人の減少が続いている。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	・新規求人数は増加しているものの、新規求職者数も大幅に増加しており、全体では求人数は減少している。
		民間職業紹介機関（所長）	・全体の求人件数が減少している。
	悪くなっている	-	-

10.九州

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	・4月中旬から紳士服部門を中心に来客数が増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は個人客、団体客ともに増加傾向にあり、客室単価も上昇してきている。また一般宴会、婚礼も3か月前に比べて来客数が増加してきており、順調に推移している。
		住宅販売会社（従業員）	・今月は、大幅な受注増加ではないが、最近にはない受注総数である。
		住宅販売会社（従業員）	・イベント会場、展示場などへの来場者数が増加傾向にあるが、契約までの時間は相変わらず長かかっている。
	変わらない	百貨店（売場担当）	・来客数は先月と同水準であるが、広告の目玉商品ばかりに殺到するので単価が上がらない。
		百貨店（営業担当）	・催事では売上、入店ともに好調だが、他のフロアへの波及効果はない。目的のものしか買わないという状態が続いている。
		百貨店（営業担当）	・メンズを中心に売上が良くない上に、ゴールデンウィークはミセスの売上も悪く、売上が増加しない。
		百貨店（営業担当）	・来客数をみると昨年よりも好調に推移しているが、売上となると昨年よりも下回っている。
		百貨店（営業担当）	・高額品がやや動いたものの、日々の買物は相変わらず前年を下回り、総合的には3か月前とほぼ同じである。
		百貨店（総務担当）	・固定客が来店しておらず、初めての客が増加しており、客の動向が把握できず、全体として回復が見通せない。
		スーパー（店長）	・従来の購買行動が変化しておらず、買上単価、点数ともに、それほど悪くも良くもなっていない。
		スーパー（店長）	・母の日の進物の売上が対前年比で悪く、売上が伸びない状況が続いている。
		スーパー（店員）	・販促チラシの効果が継続せず、商品の単価下落傾向がまだ続いている。
		スーパー（総務担当）	・売上は好調に推移しているが、来客数と買上点数が増加せず、客単価は下がったままである。
		コンビニ（店長）	・ゴールデンウィークに需要の拡大が図れず、月末まで回復することができず、前年と比較するとやや低迷が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	・ゴールデンウィークのキャンペーンでの客の動きは良かったが、その他の商品、特に高額商品に手を出さないという状況である。
		乗用車販売店（経理担当）	・新車の売行きは普通だが、買い替えが少ない。
		住関連専門店（店長）	・来客数は増加傾向で、消耗品等の売上も伸びているが、家具などの大型耐久商品で客の動きが悪い。
		高級レストラン（経営者）	・低価格の料理の注文が依然として続いている。
		観光名所（職員）	・最近わずかだが、来客数が前年を上回っている。団体客も増えてきたが、各団体の人数は少ない。
		旅行代理店（従業員）	・個人客の動きは好調であるが、単価が低下しているために売上が思うほど伸びていない。 ・航空券では事前発券制度がなくなり、事前に代理店で購入しなくても空港カウンターで直前に購入ができるようになったため、来客数が減少している。
		タクシー運転手	・売上を伸ばすために遅くまで働く人が増えている。
		設計事務所（職員）	・新規物件が増えるどころか、全くないという厳しい状況が続いている。
		住宅販売会社（従業員）	・展示場への来客数、契約数とも、ほとんど動きがない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・商店街の来街者も相変わらず少なく売上が悪い。特に土日の客が大幅に減ってきている。	
		商店街（代表者）	・来街者の減少により、連合会で発行している共通駐車券の発行枚数が減少している。	
		百貨店（売場担当）	・下旬になってかなり対前年比の売上が減少している。客単価が6%ほど、一品単価も8%ほど低下しており、数量も減少している。	
		スーパー（店長）	・今月に入ってからインポートの高額商品やジュエリーなどが軒並み悪くなっており、引き続き単価も下がっている。	
		スーパー（経理担当）	・衣料品専門店の展開により、以前にも増して衣料品の落ち込みが大きい。	
		衣料品専門店（店長）	・10代から20代の男性の購買意欲が下がっている。	
		衣料品専門店（店員）	・全体の売上が減少し、客単価が低下している。特にゴールデンウィーク後の来客数が減少している。	
		衣料品専門店（総務担当）	・決算売りつくしを毎年計画しているが、来客数が例年に比べ5%減である。売上が上がらないし、企画も当たらない。	
		家電量販店（店長）	・パソコンの売上が鈍く、家電リサイクル法施行前の駆け込み需要の反動が5月に入って顕著にみられ、来客数も前年の95%と減少傾向にある。	
		家電量販店（店員）	・季節の変わり目、新商品の登場にもかかわらず客単価が低下している。	
		家電量販店（企画担当）	・家電リサイクル法の実施により、4月に入ってからは良くない。	
		乗用車販売店（従業員）	・県内の新車市場の売上が前年割れである。	
	悪くなっている	高級レストラン経営者	・今年は団体観光客や地元法人の来客数が減少し、売上は非常に落ち込んでいる。	
		スナック（経営者）	・連休明けはいつも出足が悪いが、今月は特にひどく、無駄な出費はしないという雰囲気を感じられる。	
		通信会社（経営者）	・必需品以外の購買欲が上がっていない。	
		住宅販売会社（従業員）	・公庫の申込期間中にもかかわらず、受注状況が悪い。	
	企業動向関連	良くなっている	建設業（総務担当）	・去年とは全く違い、民間工事の受注も順調で半年先までの工事の受注も確保している。
			農林水産業（経営者）	・春先以降、メニューの入れ替えにより、低価格商品ながらもスーパーや居酒屋で売れている。
		変わらない	建設業（経営者）	・公共工事は新年度に入って減少しているが、年間工事は若干ながら増加傾向にある。一方、競争は相変わらず激化している。
食料品製造業（経営者）			・酒類業の設備投資が全く控えられている状態である。	
輸送業（従業員）			・荷動きにムラがあり安定しない。	
やや悪くなっている		輸送業（総務担当）	・貨物の動向については、食料品、夏物衣料品、半導体関連など、荷動きが悪い状態が続いている。	
		金融業（調査担当）	・人手の割に売上は伸びていない。	
		家具製造業（従業員）	・周りの得意先が今月に入って2件倒産している。	
悪くなっている		建設業（従業員）	・官庁の箱物公共工事が落ち込んでいる。民間の箱物工事が出て同業他社の入札参入が多く、たたき合いで悪循環となっている。	
		広告代理店（従業員）	・今月は前に比べると発注件数がかなり減ってきている。	
	悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・受注量が激減し、受注する仕事も採算に合うものが少なくなってきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体業界そのものが、全国的に在庫調整に入っているため動きが非常に鈍くなっている。周りの製造業も受注がなく困っている現状である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・漁船を造っているが、国の水産庁からの減船ということで、今月になっても減船が出てきている。
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（支店長）	・単価は横ばいだが、業種に広がりが見られる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・特に派遣の依頼においては急激な変化はないが、契約期間満了で終了するという傾向にあり、期間延長の話が少なくなってきた。
		人材派遣会社（社員）	・新たな派遣需要そのものがなかなかペースにのらず、マイライン、IT関係、OA以外の新たな動きが見られない。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・求人倍率は上がっているが、大学生の新卒の就職が厳しい状況である。中途採用の件数も、対前年比でも微減という形になってきている。
		職業安定所（職員）	・今月も事業廃止が2件発生し、うち1件は30人以上の大量離職者を出している。
	やや悪くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	・求人がなかなか出ず、出てもパート、アルバイト、臨時職員というものしかない。
		人材派遣会社（社員）	・好調な企業であっても、リストラの話が進んでいる。
悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・物品販売や飲食店での求人数が減少している。またアウトソーシング系の競争が一段と厳しくなっていて求人数も激減している。	

11. 沖縄

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店（経営者）	・大企業や金融機関が過去最高の経常利益を上げており、一般企業まで広がるにはまだ時間がかかるものの、良くなりつつある。
		観光名所（職員）	・前年はサミットの開催に伴う制約等により、来客数は減少したが、今年は前年と比べると約2割、また一昨年と比べると約1割増加している。
	変わらない	スーパー（企画担当）	・対前年比で来客数はあまり変わらないが、客単価が低下しているため売上が増加していない。
		コンビニ（エリア担当）	・取引先では思ったほど売上は伸びてない。しかし、企業努力により回復の兆しがある企業もあり、企業格差は広がっている。
		衣料品専門店（店員）	・高額商品の売行きが悪く、客単価が低下している。
		乗用車販売店（経理担当）	・状況の変化は特にない。
	やや悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	・家賃の滞納状況が変わっていない。
		百貨店（総務担当）	・対前年比でみて売上が厳しい。
		スーパー（買付担当）	・従来通りチラシ等の宣伝は行っているが、以前と比べると客の買上単価への反応からみて売上効果がみられない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・出版業界も倒産企業が増えており、景気の見通しが悪いという内容の本も多く出ている。本の売上は3か月前に比べてかなり減少している。
		高級レストラン（副支配人）	・各ホテルにおいて観光客数が少なく、そのあおりで来客数が減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	悪くなっている	商店街（代表者）	・周辺地域への大型店の進出が多く、大安売り等があり活発であるが、中心部では空洞化が進み、景気は非常に厳しい。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	輸送業（総務担当）	・ゴールデンウィークでの物量が増加している。
		通信業（従業員）	・サーバー関連を中心に、開発の案件が多く入ってきている。
	変わらない	-	-
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	・発注と発注との境期にあり現状は悪い。
		不動産業（従業員）	・物価、地価の変動はないが来客数は減少している。
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・全体的に収入が減少している。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	・失業者が増加しており、新規求人も減少してきている。求人倍率はやや好転しているものの、今後景気の動向によっては変動する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・本業での仕事が立ち行かなくなり、新規事業開拓に乗り出す会社が多くなっている。
	悪くなっている	-	-

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	一般小売店〔土産〕 (店員)	・夏の繁忙期であり、有珠山噴火の影響も解消したことから、来客数が増加する。
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・現状からみて2、3か月先のバーゲン時期に買いだめすると予測ができるので、今後の売上は増加する。
		家電量販店(店長)	・家電リサイクル法施行前の駆け込み需要の反動による売上低迷がなくなり、夏場からエアコンを中心に需要が活性化する。
		自動車備品販売店(店長)	・来客数の増加に加えて、年輩が中心であった客層がファミリー層にも拡大している。
		住関連専門店(統括)	・客単価は低下しているが、新規の客が増加している。
		その他専門店〔医薬品〕(経営者)	・去年と比較して横ばいの水準まで売上が回復しており、来客数も若干回復している。ただし、予断を許さない状況にある。
		観光型ホテル(経営者)	・従来は、入込客の月変動が大きかったが、この3か月は一貫して大幅に増加しており、2、3か月もこの傾向が続くとみられる。
	美容室(経営者)	・客単価が少しずつ上昇している。	
	変わらない	百貨店(売場主任)	・釧路地域の経済の低迷が続いており、購買が回復する見込みがない。また、高額商品の荷動きが依然として良くない。
		百貨店(売場主任)	・夏物商戦は気温に左右されるが、今現在で2ケタに近い伸びなのでこれ以上の増加は難しい。
		スーパー(店長)	・夏物衣料販売のピークを迎えるが、単価の低下が見込まれ、利益確保が厳しくなる。
		コンビニ(エリア担当)	・地元客の来客数、客単価が低調に推移しており、夏場の観光需要は期待できるものの一過性の要素が強い。
		衣料品専門店(店員)	・来客数が増加する見込みがない。また、3か月後は真夏ということもあり、おそらく単価も低い。
		家電量販店(店員)	・今の時期に客がよく下見をしており、大型商品のテレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機が夏商戦に向けて売上の増加が見込まれるが、エアコン、冷蔵庫に関しては天候次第である。
乗用車販売店(従業員)		・ボーナス商戦に入るが、買い換えを控えている客が例年よりも多い。	
住関連専門店(営業担当)		・気候が良くなりブームのガーデニング用品の売上が伸びているが、全体としては例年並みで変化がない。単価の低下傾向も続いている。	
高級レストラン(スタッフ)	・観光シーズンに入っても、イベント等をしてツアー客を呼び込まないと来客数が減少する恐れがある。		
高級レストラン(スタッフ)	・誕生日、歓迎会等の小グループの利用が増加しているのは明るい兆しだが、全体的にみると変わらない。		
高級レストラン(経営者)	・3か月先は夏場の観光シーズンに入るので今よりは忙しくなるが、今年は観光客がユニバーサル・スタジオ・ジャパンの開業した大阪に流れないか不安である。		
観光型ホテル(スタッフ)	・夏期に入り、観光客の増加は期待できるが、単価が上昇していないことが懸念される。		
旅行代理店(従業員)	・個人需要の先行受注は順調に推移しているが、法人需要は低迷している。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・タクシーの昼間、夜間利用が今後2、3か月の間で増加する見込みはない。
		観光名所（役員）	・道外客を中心に入込客数が増加傾向にあるが、消費単価が低下傾向にある。
		住宅販売会社（営業担当）	・展示場の来客数がそれほど大幅に増加していないので、2、3か月後に土地、建物の契約に至るまでにはいかない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・低価格志向が続いており、売上増加が期待できない。
		百貨店（売場主任）	・客の購買が、カジュアル商品中心で、単品買いになっている。また、高額商品に動きがない。
		スーパー（企画担当）	・ゴールデンウィーク後もガスボンベ、炭、紙コップ等の行楽関連商品の動きは好調であるが、日常の食材の動きが極めて鈍い。
		スーパー（店長）	・今年度の春闘ベースアップは不十分な状況であり、夏季のボーナス商戦も期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・周辺の競合店スーパーの値下げ等により、以前は敏感に反応した価格設定でも、現在は客の反応が鈍くなっている。
	悪くなっている	家電量販店（店長）	・高額商品の動きが良くない。
		コンビニ（エリア担当）	・季節ごとのイベント、週末、給料日ごろの客の反応が非常に鈍くなっている。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（団体役員）	・企業の動きに明るさと活気がみえてきている。
		金属製品製造業（統括）	・新築住宅の着工が増えてくるとみられる。
		通信業（営業担当）	・6、7、8月の投資計画が検討段階に入っている。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	・北海道経済にはほとんど明るい兆しが無いが、公共事業、住宅着工、設備投資が悪いなどこれ以上落ち込む要素もない。
		通信業（営業担当）	・情報産業は良い傾向にあるが、建設業界は減速感を抱いており我々への投資も少なくなってきたなど、業種によってかなり違いがある。
		金融業（企画担当）	・先行き不透明感が募り、好転の兆しがみえない。
		その他サービス業 [建設機械リース]（従業員）	・安定した長期の仕事が少なく、3か月先に好転することは期待できない。
		その他企業 [コンパニオン担当]（従業員）	・婚礼部門の予約が低調であるが、宴会部門は例年並みである。
	やや悪くなっている	輸送業（支店長）	・金融機関の貸出規制が進行しており、倒産が各業界で多発することが予想される。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている		
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・小売業、卸売業に明るい兆しがみられるが、地域の基幹産業である建築業、土木業が足を引っ張っている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今後もパート等の非正社員中心の求人が続くとみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・建設業、運輸業については、先行き不安があるので先の見通しは立たないというのが現状である。
新聞社 [求人広告]（担当者）		・求人広告は若干増加しているが、依然として正社員の求人は低調である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新規求人数が16か月連続で前年同月比を上回っているものの、新規求職者も前年同月比を上回って推移している。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・正社員の求人広告が増加しそうにない。
		職業安定所（職員）	・進出企業の話がある反面、地域内の金融機関で金融不安がある。
		職業安定所（職員）	・倒産による失業者が増加している。
	悪くなっている	-	-

2. 東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	タクシー運転手	・以前は客探しに時間がかかっていたが、飲食街で待っていれば連続して客がいる状態となっている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・5月から7月の動向が要注意であると考えていたが、5月の各種数値は安全圏に入っており今後もやや良くなると期待している。
		商店街（代表者）	・今夏の猛暑予報で、天候次第の商売は持ち直すと期待される。
		乗用車販売店（経営者）	・6月末に待望のリッターカーが発売されることに大きく期待している。
		住関連専門店（経営者）	・販売方法の工夫や新たな商品の販売で、あるいはボーナスによって売上がやや良くなる可能性がある。
		観光型旅館（経営者）	・夏休み時期の家族旅行の予約は、間際化のため読めないものの、6月は久しぶりに予約が良好で、対前年比も目標もかなりプラスになる。
		住宅販売会社（従業員）	・客の反応が良い状況が続くと思う。
	変わらない	商店街（代表者）	・これからボーナスおよび中元シーズンとなるが、このような景況の中では期待できない。 ・中心商店街のポテンシャルは低下していないが、地元の中小零細店が苦戦しており、今後の活性化策が重要である。
		百貨店（売場主任）	・今後予定しているイベントに期待しているが、中元時期に選挙があるため影響を受けるものと懸念している。 ・客単価の低下は今後も続く。
		百貨店（企画担当）	・客の雰囲気は良くなっているが、これを売上に結び付けるには、もう一段の外的要因が必要である。
スーパー（店長）		・来客数はやや増加しているが、競合店との競争で一点単価を上げられない状況であり、購買意欲を何らかの方法で刺激しなければ客単価を上昇させるのは困難である。	
スーパー（企画担当）		・この1年で小規模のスーパーが倒産し、その後に100円ショップなどの低価格ショップが出店している。収入が増えないもしくは減少している中で大きな期待はできない。	
スーパー（経理担当）		・ここ1、2か月は下げ止まっている。	
衣料品専門店（経営者）		・必要なものしか購入しないという購買行動が定着しており、これが変わるとは考えられない。	
家電量販店（店長）		・エアコン需要はあるが、カラーテレビ、冷蔵庫、洗濯機などは家電リサイクル法の影響もあり、壊れない限り全く売れない。 ・パソコンは以前の勢いがいない。 ・単価の低下が一段と進んでいる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経営者）	・ 新型車発売の予定もなく、現状維持が精一杯である。
		乗用車販売店（営業担当）	・ 過去数か月間の客の購買行動を分析し、あらゆる販売手段を講じているが、前年実績を越えられない。 ・ 客は車を大事に乗り、保有期間がますます長期化している。
		乗用車販売店（営業担当）	・ 車種グレードを下げてでも、予算に合わせて車を購入するという状況は当分続く。
		高級レストラン（支配人）	・ 値ごろ感のある商品は売れているが、全体的な売上増には結び付かない。
		一般レストラン（経営者）	・ 夏休みに期待はしているが、ボーナスは期待できない。 ・ ファミリー客が減少し始めている。
		一般レストラン（経営者）	・ 連休明け以降は、来客数、客単価ともに伸び悩んでおり、この状況は変わらない。
		スナック（経営者）	・ 客の話題が明るくなっているが、3か月先の景気に結び付くか分からない。
		その他飲食[そば]（経営者）	・ 健康に注意して、バランスの良い食事をとる人が多い一方で値段だけを気にする人もいる。
		タクシー運転手	・ まだ客の乗り控えが目立ち、現状維持が大変である。
		観光名所（職員）	・ 予約状況、問い合わせ状況からも改善される見込みはなく、変わらない。
		遊園地（経営者）	・ 夏場に企画しているイベントの成否にかかっている。 ・ 新内閣の政策で、消費マインドが上向くことを期待している。
		住宅販売会社（従業員）	・ 5月の来客数の増加や客の反応などから、客の経済情勢が多少改善されていると思われるが、その状況が今後も続いたとしてもあまり変わらない。
		やや悪くなっている	百貨店（広報担当）
	スーパー（店長）		・ 競合各社で定番加工食品の価格引下げが始まったため、より一層の一品単価の下落に拍車がかかると売上の減少が心配である。
	スーパー（店長）		・ 一点単価が下げ止まらない。 ・ 低価格の店が支持され、そこでまとめ買いする客が増えている。
	スーパー（店員）		・ 客の収入が少なくなっているため、デフレによる価格低下を期待して買い控えている節がある。
	スーパー（店員）		・ ボーナス次第であるが、リストラが進行しておりボーナスは減少が予想される。 ・ 無駄買いをしないためメモを持っている客もいるが、来てくれる客がいるだけまだ心強い。
	衣料品専門店（店長）		・ 低価格志向の消費マインドに迎合し、価格を下げて数量を稼ごうという方向に疑問を感じている。
	その他専門店[ガソリンスタンド]（営業担当）		・ 客の先行き不安感からか買い控えや低価格志向が強くなり、今後はますます粗利確保が難しくなる。
	その他専門店[ガソリンスタンド]（経理担当）	・ 元売からのガソリンなどの仕入価格は上昇しているのに、スタンドの販売価格は競争激化により下降している。	
観光型ホテル（経営者）	・ これから3か月は入込数が全く伸びず、特に7月は当地区でダブル選挙があるため、予約は例年の3割減である。		
観光型旅館（経営者）	・ 同業者の廃業やリストラが増えている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		都市型ホテル（経営者）	・競争相手が増加している。 ・価格が不当に値崩れしている。	
		通信会社（社員）	・料金値下げと過大な競争で、収益が減少する。	
		住宅販売会社（従業員）	・金融機関のローン審査の状況からやや悪くなる。	
	悪くなっている	一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・所得環境の厳しい中、個人消費は財布のひもを一段と引き締めている印象である。	
		タクシー運転手	・仙台は人口当たりのタクシー台数が多く、規制緩和によって自由化されて新規参入者が増えれば、現状でも悪い状態なのに、更に悪くなる。	
		通信会社（営業担当）	・価格崩壊を招くような料金体系の事業者が人気を集めている。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	繊維工業（総務担当）	・今生産している備蓄商品の出荷と、生産即出荷など年間通じて最繁忙期に入るため、厳しい状況下ではあるがやや上向きになるが、以前に比較すると繁忙期が少しずつ短くなっている。	
		輸送業（従業員）	・航空貨物の主要品目である、電子、電器製品から夏ごろにヒット商品が発表されると期待している。	
		その他企業〔企画業〕（従業員）	・新内閣の経済対策への期待が大きく、これまで控えていた設備投資を実現化するという企業の声が増えている。	
	変わらない	農林水産業（従業者）	・不景気とはいえ今年の収穫に期待できるため、農業用機械の購入がみられる。特に草刈機などが売れている。	
		食料品製造業（経営者）	・中小企業まで不況が浸透しており、酒類消費に悪影響を及ぼしている。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・毎年3月決算の翌月はもともと受注が減少していたが、今年は例年と異なり発注元が海外生産にシフトしていたり、発注元が社内生産化を始めたりしており、受注が大幅に減少している。	
		電気機械器具製造業（従業員）	・通信機器の新製品発売も見送られ、夏までこれといって変化はない。	
		電気機械器具製造業（総務担当）	・秋に回復が見込まれていた半導体事業であるが、最近の動向から秋の回復が後ろ倒しになりそうであり、悪い状況が今後も続く。	
		建設業（従業員）	・仕事の件数は増えているが、単価は低下しており、全体的には変わらない。	
		通信業（営業担当）	・ゴールデンウィークが終わり、お盆まで客は消費を抑える状態が続く。	
		広告代理店（従業員）	・全体的に広告予算が厳しく圧縮される。	
	やや悪くなっている	建設業（従業員）	・今期受注予定の食品関係の工事着工が順延し、またIT企業の設備投資も現在検討中で減速傾向がみられる。	
		建設業（企画担当）	・民間建設投資を支えてきた分譲マンション投資が冷え込みつつあり、公共事業においても財政の問題から今後期待できる状況にない。	
		通信業（企画担当）	・情報化分野の景気低迷が長期化する可能性がある。	
	悪くなっている	繊維工業（営業担当）	・受注量が展示会毎に減少している。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・為替がやや円高気味で動くことにより輸出産業がダメージを受ける。	
		電気機械器具製造業（企画担当）	・先月同様に、電子部品関連の受注が上向かず、先行き景気は悪くなる。	
	雇用 関連	良くなっている	-	-
		やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・東北地方では、エンジニアの採用が大きなウェイトを占めており現状は最悪だが、年後半から盛り上がる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・最近人材派遣業界で忙しいのは、森内閣が創設したIT基金からの自治体を中心とした仕事であり、2、3か月後は分からない。
		人材派遣会社（社員）	・2、3か月先の人材派遣の受注見通しはあるが、増強のための人員補充ではなく、突発事項への対応がほとんどである。
		人材派遣会社（社員）	・通信業界からのマイルインに絡むオーダーが沈静化し、これを補うものがない。 ・派遣法の規制緩和に伴い、オーダーの中身の変化が増えている。販売系の職種、営業系の職種、紹介予定派遣など潜在的なニーズがみえている。こういったものを企業で本格的に取り上げてもらえれば、派遣業界は良くなる。
		職業安定所（職員）	・有効求人、求職ともに若干の増加傾向であるが、新規求人に伸びがない。
		職業安定所（職員）	・事業所訪問による生産、営業活動状況の聞き取り調査の集計では、横ばいとする企業が大半であり、雇用過不足感については68.4%の企業が適正であると回答している。 ・今月は地元銀行の廃業により、大量離職者が発生したが、希望職種が管理事務職であり再就職が容易でなく、雇用情勢は今後も厳しい状況が続く。
		職業安定所（職員）	・パソコン向けの需要の低迷などから、製造業を中心に生産調整が行われ、求人増加の要素は少なく、現状維持が精一杯である。
		職業安定所（職員）	・派遣社員も長期から短期への切替えが増えてきている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・製造業、建設業の求人が伸びず、それに代わる新たな産業がみえないため、悪くなる。
		新聞社職員 [求人広告] (担当者)	・求人広告の申込実績が低下している。
		職業安定所（職員）	・今後も幅広い業種で人員整理が発生し、急速に回復してきた求人が次第に減速する恐れが出ている。
		職業安定所（職員）	・事業所閉鎖や倒産が発生し、求職者の増加が予想され、建設業や製造業など景気について厳しい見方をしている事業所が多く、新規求人に大きく反映しつつある。
		職業安定所（職員）	・新規求職者が増加している。 ・雇用保険の資格喪失、失業給付の受給資格決定件数が増加している。
	悪くなっている	-	-

3. 北関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	衣料品専門店（統括）	・気候も良くなり、商店街で全国有名陶器市を開催する予定もあるので、多少良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・ボーナス期に新型車が発売されるので、効果が現れる。
		その他サービス [自動車整備業] (事務長)	・近郊の町工場では仕事量は増加しているが、親工場から決められた見積価格であるため、従来どおりの利益はない。 ・組合員からの持込み車両が5年間減少していたが、今年に入り、わずかに増加してきている。
変わらない	百貨店（販売促進担当）	・顧客限定特別招待会では、高品質商品のパーゲンが非常に好調である。一方、日々の売上は低調で、ワイシャツなどの単価ダウンが続いており、総じて一進一退である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・客の収入が伸びていない中で、携帯電話などの通信費支出は伸びている。そのため、他の経費が圧縮される傾向にある。
		コンビニ（店長）	・客はビールから単価の低い発泡酒に乗り換えている。販売本数は増加しても、単価が低いため売上は増加しない。 ・ヒット商品もないので、変わらない。
		一般レストラン（店長）	・客単価が上昇しても来客数は増加傾向にないため、変わらない。
		通信会社（社員）	・携帯電話普及率は高いので、今後の大幅な需要増は見込めない。
		ゴルフ場（支配人）	・今後、平日の大型コンペはあるが、プライベートコンペの減少傾向が続く。
		競輪場（職員）	・売上の減少傾向に歯止めがかかっていない。お金が遊びに回ってこない状況は変わらない。
		設計事務所（所長）	・3か月後の受注見通しが、多少減少している。
		住宅販売会社（経営者）	・不動産業界では、周りの景気が回復した後に、明かりがみえてくるので、数か月中の回復は難しい。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・空き店舗が増加しており、来街者数、来客数が目に見えて減少している。
		百貨店（営業担当）	・所得の伸び悩みによって、客の買い方が慎重になっている。
		乗用車販売店（営業担当）	・新しい商談が出てこない。
		美容室（経営者）	・夏に向かって美容院への来店客が減少してくる。
	悪くなっている	都市型ホテル（スタッフ）	・婚礼、宿泊、宴会、学校関係、すべての予約数が激減しているため、獲得に悩んでいる。
	企業動向関連	良くなっている	-
やや良くなっている		その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	・引き合いが活発で、受注量も増加傾向にある。
変わらない		電気機械器具製造業 (経営者)	・仕事の話はあるが、単価が安くて手も足も出ない。
		建設業 (経営者)	・民間工事は増加する状況になく、官公需では予算執行が随分遅れている。
		新聞販売店 [広告] (総務担当)	・今まで大判主体であった出稿するチラシのサイズが、小さくて安いB4サイズになってきている。
やや悪くなっている		プラスチック製品製造業 (経営者)	・製品の値下げが進行し、海外への仕事の移行も激しくなっている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・設備投資の件数が、非常に少なくなっている。
悪くなっている		建設業 (総務担当)	・取引先のゴルフ場では、土日祝日は客で一杯だが、平日にはほとんど客がおらず、設備投資をする状況ではないといっている。
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社 (経営者)	・衣料品関係では夏物が出回っており、販売促進の派遣需要も活発になっている。
	変わらない	職業安定所 (職員)	・求人数は前年と変わらないが、求人の形態では、パートや派遣、業務請負等、常勤以外の割合が大きくなっている。
		学校 [短期大学] (就職担当)	・特に目立った動きはないが、電子、精密といった製造業の求人は慎重になりつつある。
	やや悪くなっている	職業安定所 (職員)	・地域の大手企業で7月より組織改変を実施するため、協力会社200社に影響が出る。
	悪くなっている	-	-

4. 南関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・連休中の客足が続けば、買物につながるという確信が持てる。ただし、現状の価格設定では厳しい。 ・若年層の財布のひもが固くなっている。
		スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・食料品については、客は価格よりも味、鮮度を重視した買い方をしている。衣料品では、値下品以外にはほとんど売上に貢献していない。 ・流行しているペイブレード等の商品では、親が朝から並んで買うなど、欲しいもの、必要なものについては貪欲に購入する雰囲気になっている。
		家電量販店（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル商品も徐々に売れてきている。 ・新築需要で、エアコン関係の動きが良い。
		乗用車販売店（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・カー用品、アウトドアグッズの売行きが好調である。 ・新車が発売になり、ボーナス時期にも向かっているので期待できそうである。
		都市型ホテル（スタッフ）	<ul style="list-style-type: none"> ・証券業界のセミナー等が増えてきている。
		旅行代理店（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・7、8月の受注状況をみる限り、やや良くなっている。
	変わらない	百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料品の一部にある比較的良好な動きは、クリアランスまで続くとは考えにくい。 ・中元に関しても、減少傾向は続いており、そごうの問題で多少流れてくる部分はあるが、大きな上乗せは期待できない状況である。
		百貨店（企画担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なものしか買わない、レジャーやIT関連の支出が増加する傾向は、今後も続く。セール期には売上増の期待はあるが、利益は上がらない。
		百貨店（売場主任）	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商品、高額商品の低迷、日売りの悪さから、この3か月で良くなる傾向はみられない。
		百貨店（販売促進担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活必需品等の低単価志向はまだまだ続く。 ・趣味性の高い商品や高額商品の動きは依然として不安定で、顧客の購買姿勢の慎重さがうかがえる。
		百貨店（広報担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・中元期のピーク時に当たるので、6、7月に予定されている選挙が懸念材料である。 ・衣料品の動きに力強さが無い。特に紳士、子供の不調が継続している。婦人に関しても、単価の低いものが動いているので、全体では復調といえない状況である。
		百貨店（売場主任）	<ul style="list-style-type: none"> ・客単価の低い状況が依然として続いており、客の購買行動も慎重なままである。
		スーパー（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・安くて良いものを買うという購買パターンがはっきりしてきている。
		スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・所得は増加せず、価格競争が相変わらず厳しい。一般消費者に節約意識が根付き、無駄なものは買わないという状況にある。
		コンビニ（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・暑くなるにつれて、飲物の販売は増加するが、各種の料飲店がランチタイムを設定してサービスをしているため、弁当の販売が今1つである。
		衣料品専門店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・大型店の出店効果も薄れ、来客数は出店前の状況に戻りつつある。
		衣料品専門店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者の購買意欲が盛り上がっていない。安いとか、これまで扱っていない商品など、特別なイベントをやった時には興味を示すが、持続しない。
		その他専門店〔燃料〕（売場主任）	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に予定されているガソリンの仕切りの上昇分を客に転嫁するのが難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔眼鏡〕(店員)	・季節的な特定アイテムにより若干好調に推移しているが、全体的には客数、客単価に変化がみられない。
		高級レストラン(支配人)	・新規で客が予約する状況にはない。
		一般レストラン(経営者)	・飲食店が値下げ合戦をしており、しばらくはこのような状況が続く。
		タクシー運転手	・サラリーマンの客が9割を占めるこの仕事の状況は、当分変わらない。
		タクシー運転手	・安売店には列を作るが、他の店では閑古鳥が鳴いているという現状では、先行きが不透明である。
		通信会社(営業担当)	・ケーブルテレビの放送、インターネット需要の増大要因が、今のところ見当たらない。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕(職員)	・レジャー施設の割引クーポンが氾濫し、定価利用について、消費者は損失感を感じているように思われる。
		美容室(経営者)	・失業者が多いなかで、男性の利用客が減少する。
		その他サービス〔フィットネスクラブ〕(支配人)	・来客数が横ばいで、先行き上昇する見込みがない。
		設計事務所(経営者)	・行政の仕事は出ているが、民間会社の仕事は依然として先がみえない。
		住宅販売会社(経営者)	・土地の仕入れ価格は低下しているが、客が志向する低価格帯の物件をなかなか提供できない。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・店内に入っても、客はなかなか商品を買わない。また様子を見てくるとか、もう一度出直すなどと言って、購入につながらない。
		一般小売店〔靴・履物〕(店長)	・客単価、商品単価とも、低下傾向はまだ続く。 ・来客数も伸びることがない。
		一般小売店〔CD〕(営業担当)	・新作の予約状況が良くなく、特に高額商品の購入が目立って減少している。
		スーパー(統括)	・将来に対する見通しが不明確で、客が支出を控える傾向は今後更に高まる。
		一般レストラン(店長)	・客がますます単価の安い方に流れ、テイクアウト等で外食をしない状況になると心配している。
		旅行代理店(従業員)	・特に大きな団体の動きもなくなっている。
		住宅販売会社(経営者)	・デフレ感が強く、発注が伸び悩む。
	悪くなっている	コンビニ(経営者)	・売上、客数ともに急に落ち込んできている。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・スポット的な商談が決まり始めている。
		金融業(渉外担当)	・裾野の広い自動車業界が設備投資を増やすため、資金が動く。
		その他サービス業〔情報サービス〕(従業員)	・ある程度の予算を残している需要家がいるため、中小規模のIT化は進む可能性がある。
		その他サービス業〔情報サービス〕(従業員)	・新規案件の引き合い等が、わずかながら増加している。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・受注の増加要因と減少要因が相殺して変わらない。
		金属製品製造業(総務担当)	・受注残が少なくなっている。 ・単価が厳しくなっている。
		通信業(営業担当)	・目新しいサービス提供の予定がない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなっている	金融業（審査担当）	・受注状況に大きな変化はなく、今後の改善は期待薄である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・大手設計事務所ですえも仕事が落ち込み、人員を大幅に削減している。設計事務所が暇になると、更に建築関連の仕事が減少する。
		不動産業（経営者）	・マンションや戸建て、依然値下がりが続いている。
		悪くなっている	広告代理店（従業員）
雇用関連	良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・タイに工場を出している客から、単価が高ければタイに仕事を持っていくという話がある。1日4百円で職人が来るタイと比較して、安く仕事を受けることはあり得ない。
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（経営者）	・日系企業の中途採用ニーズは、非常に底固い。
	変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	・前年に比べ、求人情報を多く掲載してくれる客が多い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・賃金の高い深夜、早朝、休日には残業手当等の出ない役職者を配置し、パートの採用を最小限に抑える、倉庫に売れ残っている商品をディスカウントショップに出す、2000円の食べ放題で客を集める等、企業はさまざまな努力を続けているため、今より悪くなることはない。
	やや悪くなっている	学校〔専門学校〕（教務担当）	・システムエンジニア、プログラマーなど、コンピュータの特定職種の求人は多いが、他の職種では非常に少ない。
		人材派遣会社（社員）	・新規雇用を予定している企業が見当たらない。
		職業安定所（所長）	・雇用より業務改善に重点があり、採用の抑制を図ろうとする企業がある。
		悪くなっている	職業安定所（職員）
		-	-

5. 東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	乗用車販売店（従業員）	・全体的な傾向で車が安くなりすぎた感があり、そろそろ持ち直す。
	やや良くなっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	・必要な物を必要なだけ買うのは望ましい傾向であり、客単価は低下しても販売数が増加すればよい。
		百貨店（企画担当）	・ヤング、キャリア層のファッション需要が引き続き好調に推移し、売上の底上げに寄与する。
		スーパー（店長）	・新企画の販売方法は客の反応が良く、売上が好調に推移している。
		家電量販店（店員）	・冷蔵庫やクーラーなどの耐久消費財の買い換え需要がやや出てきている。
		乗用車販売店（経営者）	・連続性、安定性には欠けるものの、ちょっとしたきっかけで爆発するような気配もうかがえる。
		乗用車販売店（従業員）	・5年目の車検を受けるよりも買い換えようという話を、ちらほら聞く。
		住関連専門店（店員）	・若い客層は購買意欲が上昇してきている。
		テーマパーク（職員）	・夏休みの施設の予約や合宿の問い合わせが増加している。
		住宅販売会社（従業員）	・アパートの新築物件が少なかったため中古物件への入居が促進されている。
	変わらない	商店街（代表者）	・入居率が改善されると新築を建てようとする意欲が出てくる。
		商店街（代表者）	・売上が横ばいになってきているが、同業者が廃業したり、支店などを縮小したりしているためである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（企画担当）	・夏物バーゲンは期待できるが、商品単価の低下をカバーできる状況にはならない。
		百貨店（企画担当）	・安売り専門店の盛況により、普段使いの衣料が売れなくなっている。今後この状態にますます拍車がかかる。
		百貨店（売場主任）	・カードでポイントを貯めて、そのポイントで買物をする客が増えている。
		スーパー（店長）	・低単価の商品に客が殺到し、低単価商品のウェイトが大きくなっている。
		スーパー（店員）	・今の時期売れなければならない旬の魚、うなぎなどが売れていない。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も客の低価格志向は続く。 ・売上の前年割れがここ何か月も続いているが、改善する理由は見当たらない。
		乗用車販売店（従業員）	・高額商品の売行きが良くなっていない。
		乗用車販売店（総務担当）	・客の商談に時間がかかるようになっている。
		高級レストラン（スタッフ）	・常連客は確保しているが、一般客の入りは以外と弱い。
		旅行代理店（従業員）	・夏の個人旅行や秋の団体旅行の予約状況は、昨年と同程度で推移している。
		テーマパーク（職員）	・無料施設には客は入るが、有料施設への動きは鈍い。飲食も値下げ品や食べ放題には人気は殺到するが、高価な物は全く相手にされない。
		住宅販売会社（従業員）	・土地の評価減により、所有から賃貸志向が若干強くなる。
		やや悪くなっている	
一般小売店〔惣菜〕（営業担当）	・一般家庭で使う買物は多いが、会社関係の買物がない。お中元も節約される。		
観光型ホテル（スタッフ）	・夏休み期間の予約が対前年同月比で10%程度減少している。最近は利用間際の予約が進んでいるとはいえ、このままでは例年より5～10%程度業績が落ち込みそうである。		
タクシー運転手	・夜間を中心に仕事をしているが、公共交通機関や家用車の利用が多く、違法駐車もかなり増えている。		
通信会社（社員）	・マイライン制度導入による競争激化で、売上は明らかに減少する。		
悪くなっている		設計事務所（経営者）	・現在のところ、確定している仕事がない。
企業動向関連	良くなっている	-	-
		電気機械器具製造業	・新規発注はまだ出てこないが、客先での在庫量は減少傾向にある。
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（工務担当）	・販売予想が高く、対前年度比の売上も増加傾向である。
		化学工業（総務担当）	・取引先が海外に生産拠点を移す影響からか、受注が減少している。
	変わらない	建設業（企画担当）	・工事が若干増えたとしても、各社のコストダウン競争が激しく、厳しい状況は続く。
		公認会計士	・中小企業の不良債権処理はまだ一巡しておらず、IT関係の生産が増加しているとの情報もない。
		化学工業（営業担当）	・樹脂関係の仕事量が減っている。
	やや悪くなっている	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	・引き続き受注単価が低下しそうで、売上を伸ばしにくい。
輸送業（エリア担当）		・景気が上向く際の特徴となる住宅関連や自動車関連の輸送は増加していない。	
輸送業（従業員）		・取引先のうち、特に輸出関連が円安にもかかわらず状況が悪いように見える。IT関係も陰りがみえ始めている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・短期で多人数の注文が増加しており、人手不足の状態である。
		人材派遣会社（社員）	・派遣契約の更新がほぼ横ばいに推移しており、契約終了もなく引き続き継続更新が順調に進んでいる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・正社員の求人もあるが、各社の人事担当者の話を聞いていても、採用数を大幅に増加する話はない。
		人材派遣会社（社員）	・パソコン関連企業の収益が悪化し、マイライン関係の特需もそろそろ一段落の感がある。 ・公共事業予算の圧縮ムードがあり、企業は悲観的な動きが目立つ。企業活動に積極性がみられなくなる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・大手企業を中心に生産拠点の海外移転が急速に進んでいるためか、業務請負の求人が落ちてきており、下請製造業の経営環境も一段と厳しくなる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・エンジニアを中心とした技術職の求人件数はやや増加するが、雇用のミスマッチが拡大する。
		職業安定所（職員）	・製造業の求人増加が見込めない。
	職業安定所（職員）	・大手企業の業務整理、見直しによる合併、事業部門の廃止やリストラによる求職者の増加がしばらく懸念される。	
悪くなっている	-	-	

6. 北陸

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	スーパー（店長）	・単価の低下傾向に改善がみられる。
		家電量販店（経営者）	・家電リサイクル法施行前の駆け込み需要の反動はすでに収まりつつある。特に5月は早々と暑くなったため、エアコン関係の動きがかなり良くなっている。
		乗用車販売店（総務担当）	・6月には大きな新型車の発売とそれに伴うイベントが予定されており、大きな成果が期待できる。
		通信会社（営業担当）	・高額な携帯電話の新機種の新機種は、予約を含めて順調に推移している。今後、発売予定の新機種にも期待が持てる。
	変わらない	商店街（代表者）	・単価の安い目玉商品には人気があるが、高額商品の売行きは伸び悩んでいる。
		商店街（代表者）	・大型スーパーの出店によって奪われていた客も、徐々に戻っているように見える。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・ゴルフの景品などのイベント関係が若干期待できるが、全体的にはほぼ横ばいとみる。
		百貨店（営業担当）	・夏のボーナス回答が、前年を大きく下回る地場企業が続出しているため、余分な物は買わないという消費傾向が続く。
		百貨店（営業担当）	・中元期に向けて早めの販売促進活動を始めているが、その手ごたえが客から感じられない。
		スーパー（店長）	・大店立地法の駆け込み出店による開店ラッシュは収まったものの、今後は集客を続ける店と集客力の低下した店との二極化が更に進む。 ・食品などで思い切った価格を出すと、客は殺到する。必需品の価格に対して客は非常に敏感である。
		スーパー（店長）	・買上点数、売上金額など、すべてに変化がない。
		スーパー（店長）	・競合店のオープンに伴い、客の流れは活発になるが、安い物、お買い得な商品だけを買うセールハンターが多くなる。 ・1品単価が落ちるので、総体的には変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（総務担当）	・必要な物しか買おうとしない傾向から、買上点数が増えないため、売上が増加しない。
		乗用車販売店（経営者）	・4月以降、客の動きがますます鈍化しており、販売攻勢をかけても客との商談は後退することが多い。また、提案型の売り込みをしても無反応な客がほとんどである。
		乗用車販売店（経理担当）	・新しい目玉商品である高級車が発売されたため、集客面で若干プラスとなるが、それが全車種の販売動向に及ぶとは思えない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新車への買い換え状況は変化していない。
		住関連専門店（店長）	・客単価は1割強低下しているが、来客数は回復傾向にある。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・参議院議員選挙の影響で、中元はあまり期待できない。
		スナック（経営者）	・「先の見通しが立たないのは初めてで、計画の立てようがない」「まだまだ人員整理がある」など、来店客の会話の中で良い話は聞けない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約件数は前年より良くなってきているが、単価の下落や利用客の少人数化が進んでおり、実績として前年並みが予想される。
		タクシー運転手	・個人の財布のひもは固く、タクシー利用客は低迷している。
		設計事務所（職員）	・仕事量は増加に向かうが、増築や改築が主体となり、その上設計価格の引下げ要請が強い。
		住宅販売会社（従業員）	・客の決断に先送り傾向がみられる。
	住宅販売会社（従業員）	・来客数は5月連休の一時的な増加のみで、昨年とほとんど変わらない。客の態度も変わらない。	
	やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・リストラ等の影響で、背広等の売上が減少している。
		自動車備品販売店（従業員）	・5月に入ってから、急に客の購買態度が慎重になっている。ボーナス商戦の盛り上がりも期待できない。
		高級レストラン（スタッフ）	・「必要なときしかお金を使わない」という態度が当たり前になり、平日と週末の売上の落差が激しい。暇な日の売上減少を、忙しい日でカバーすることはできない。
		観光型旅館（スタッフ）	・6、7、9、10月の予約状況が前年を下回っている。なかなか人が集まらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊客数、一般宴会、婚礼宴会などの受注額の減少により、減収の見通しである。
		通信会社（社員）	・携帯電話の料金メニューを値下げするが、それをカバーするだけの売上台数の増加が見込まれない。
	悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	・展示場への来場者数は減少傾向にある。加えて、ローン金利の上昇も多少影響する。
		テーマパーク（職員）	・先行き予約数が対前年比で1割近く減少している。 ・夏場にかけて、家族や団体がユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ動くことが予想される。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	・価格の低下傾向が続く。
		通信業（営業担当）	・今後も大口の客の奪い合いが続く。
		不動産業（営業担当）	・好業績の企業からは土地購入のオファーがあるが、条件が厳しいため、地価低下の歯止めにはならない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・企業の広告宣伝費は横ばいが続く。
司法書士	・相変わらず、住宅ローン以外の資金の動きがみられない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	・どの商品にも勢いがなく、先行き不透明感がますます強い。
	悪くなっている	金属製品製造業（経理担当）	・デフレの進行から、リストラや倒産が更に増加する。
		精密機械器具製造業（経営者）	・倒産が増加し、更に連鎖倒産が起こる。 ・2、3か月先の受注価格が大幅に下がっているが、それでも受注せざるを得ないという状況である。
		建設業（総務担当）	・公共工事入札契約適正化法の施行により、同業者間の下請発注等の規制が強化されることから、更なる競争激化が予想される。
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	新聞社 [求人広告]（担当者）	・求人広告の掲載量は、このまま低い水準で推移する。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が少しずつ上昇してはいるが、中身はパートなどの求人が多いため、この改善がない限り良くはならない。
		学校 [大学]（就職担当）	・求人内容は増員ではなく、欠員補充の傾向が強いため、求人増加は期待薄である。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	・最近の受注内容は、業務多忙による増員のケースが影を潜め、欠員が出たため絶対的に補充するという場合に限られている。例えば、人材育成など将来に対する投資的な受注は冷えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新年度に入り、各企業の求人マインドが非常に弱くなるなど、後退傾向がはっきり感じられる。
		新聞社 [求人広告]（担当者）	・求人広告は漸減状況にあり、急速に回復するとは思えない。
悪くなっている	-	-	

7. 近畿

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	都市型ホテル（スタッフ）	・夏休みは例年になく早い予約が入っており、客単価も上昇している。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・来客数の増加は期待できないが、客単価が少しずつ上昇している。
		百貨店（売場主任）	・中元シーズンを迎えるが、昨年の歳暮から底打ち感も出てきており、かなり期待ができる。
		百貨店（売場主任）	・プライダル関連の購買や値ごろ感のあるブランドの雑貨、一部高額品などに動きが出てきた。
		百貨店（売場主任）	・プライダルの予算が半年前に比べて上昇している。 ・客単価は減少しても来客数が増加している。
		スーパー（企画担当）	・若干だが、買上点数、客単価が上向いており、来客数も増加している。 ・余裕感が出てきたのか、レジャー用品が売れてきている。
		コンビニ（エリア担当）	・既存店売上が前年対比で上昇傾向にある。
		その他専門店 [携帯電話]（店長）	・次世代携帯など新サービス、新機種の発売などが活発化しており、客の関心も強くなっている。
旅行代理店（店長）	・7、8月出発の夏の海外旅行は特に単価の高いヨーロッパ方面がよく伸びている。 ・長距離方面の売行きが増加している。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（経営者）	・予約状況、来場実績とも1割程度増加し、コンペも着実に増加傾向にある。
	変わらない	商店街（代表者）	・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの開業に期待していたが、その効果があまり感じられない。ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの話題も少なくなってきた。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・客は安くても良い物を求める傾向が強くなり、必要以外の物は買わない。
		百貨店（売場主任）	・同じ商圈に新しいショッピングの場所が増加したことで客の動きがあり、地区全体としては悪くないが、特別売れている店もない。
		百貨店（売場主任）	・売上は一進一退であり、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの開業による効果は今月もみられない。
		百貨店（売場主任）	・客は必要性のある商品だけ購入する。また低価格志向が強まり、今後も売上の増加には時間がかかる。
		百貨店（売場主任）	・クリアランスセールに突入するが、ヤングを中心とした客の財布のひもは固い。秋物の立ち上がりもずいぶん遅れるとみられる。
		百貨店（経理担当）	・少し上質なものは売れているが、中間の商品の動きが悪い。
		スーパー（経営者）	・競争が激化してきており、また客は買い控えの傾向にある。
		スーパー（店長）	・低価格戦略的な競争が激化し、それが恒常的になるので、今後とも景気の回復はなかなか見込めない。
		スーパー（経理担当）	・デフレが今後も続き、価格競争、同業他社との競合関係もあって、低価格路線は変わらない。
		コンビニ（店長）	・来月で3か月間の安売りを続けており、これからも続けるとみられる。利益は薄く、売上は少なくなっており、悪いまま変わらない。
		コンビニ（店長）	・来客数が減少し、客単価も低い。
		衣料品専門店（店長）	・例年だとボーナス一括の支払が増加する時期だが、今年はほとんどなく、客は夏のボーナスを見込んでいない。
		家電量販店（企画担当）	・6月から8月のエアコン需要がどれだけあるか、家電リサイクル法の影響で非常に見えにくい。
		自動車備品販売店（従業員）	・客の消費意欲は依然として低迷し、来客数の減少も続いており、回復の兆しが見えてこない。
		一般レストラン（経営者）	・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの効果が期待していたほど表れていない。
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数の減少には歯止めがかかっているが、客単価の上昇の兆しはない。
		一般レストラン（スタッフ）	・客は低価格志向が強くなり、低価格店へ移動し、当店で単価の安いメニューが出るとそちらにシフトしている。
		観光型旅館（経営者）	・宿泊施設とキャンプ場の予約状況は例年並みで、来客数は極端に減少しないと思われるが、客単価は予測がつかない。
		観光型旅館（団体役員）	・個人客の受注ペースが落ちてきており、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの影響とみられる。
	都市型ホテル（支配人）	・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンによる好影響は続く。特に夏休みは今よりも更に良くなる。 ・一般の企業の宴会がどのように動いていくのかは不明である。	
	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門はユニバーサル・スタジオ・ジャパンの効果や宿泊料金の値上げにより改善傾向にある。しかし宴会部門、レストラン部門の回復は期待できない。	
	旅行代理店（営業担当）	・夏休み商品は7月の3連休を中心に受注が増えてきた。例年より若干早くマーケットが動いている。秋にオープンする東京ディズニーシーの問い合わせもあり、若干の期待ができる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		旅行代理店（広報担当）	・客の来店状況や使う金額をみていると徐々に良くなってきていたが、ここへ来て頭打ちになっている。	
		タクシー運転手	・無線配車の迎車料金を取らない会社が出てきている。それで利用者数が増加すれば良いが、逆に足の引っ張り合いになり、売上の減少が予想される。	
		ゴルフ場（経営者）	・客の言動から、5月が少し良くなっているのは一時的なものだと考えられる。高い料金を支払ってプレーする意識はまだ低い。	
		その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	・月により多少の上下はあるものの、このままの状態が続く。 ・東京発のイベントが減少しており、その影響が遅れてこちらに波及する可能性もある。	
		その他サービス [学習塾]（経営者）	・塾の教育まで手が回らないという保護者の声を聞く。	
		住宅販売会社（営業担当）	・引き合いは多いにもかかわらず、契約となると客は慎重になっている。 ・関東地域は調子が良いが、その影響が西に及んでくるのは当分先になる。	
		住宅販売会社（従業員）	・落ち込んだ来客数も急速に回復せず、その一方で、マンションの供給戸数が増加して競争が激しくなっており、客の慎重な購入態度も一気に好転するとは思えない。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・客は決まった所得のなかで、買物やレジャーに支出しているが、雇用不安、金融不安から来る買い控えは一層続く。	
		百貨店（売場主任）	・店頭における客の購買意欲がまだ回復していない。	
		百貨店（企画担当）	・3か月前は美術、宝飾といった高額品の動きが生まれ、回復が期待されたものの、再びその動きが鈍くなっており、客の行動が慎重になっている。	
		スーパー（経理担当）	・同業他社の安売り合戦がし烈で、回復基調にはない。	
		その他専門店 [ゴルフ用品]（経営者）	・3、4月はいったん来客数が増加したが、現在は若干減少している。 ・高級品の売行きはあまり変わらないが、低価格品の売行きが低迷している。	
		一般レストラン（スタッフ）	・価格破壊の影響から、倒産、廃業が出てくる恐れがある。	
		その他住宅 [展示場]（従業員）	・住宅展示場の来場者は、購入予定について1年以内という回答が減少し、2、3年後、あるいはそれ以上先という回答が増加している。	
	悪くなっている	遊園地（経営者）	・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの影響により団体客のキャンセルが多く出てきており、ますます苦しくなる。	
		美容室（店長）	・既存客は減少し、新規客は増加しない。	
	企業動向関連	良くなっている	-	-
		やや良くなっている	金属製品製造業（経営者）	・生産面では繁忙状態が続いており、受注面でも比較的順調に進行している。特に雇用面では生産部門の人手不足が生じている。
			広告代理店（従業員）	・マンション販売に伴う広告の話が2つ3つある。
変わらない		金属製品製造業（経営者）	・好転する要素が全く見当たらない。	
		金属製品製造業（営業担当）	・全般的には今と変わらない状況が続くが、6月ごろから新規の話が入っているので、マイナスと相殺される形になる。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・IT関連の設備投資がどこまで回復していくかがカギになる。	
		輸送業（営業所長）	・今の状態では荷動きが悪すぎて、景気についての先行きは読みにくい。	
		輸送業（総務担当）	・物量はさほど変わっていない。	
金融業（支店長）	・企業の景気に対する見方がまちまちであり、マインド的な部分が大きい。			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		司法書士	・現状のあまり良くない状態が良くなることは考えられないが、今より一層悪くなるという判断もしかねる。
		経営コンサルタント	・現在の受注状況がやや良く、それが引き続き6～9か月継続するとみられる。
		経営コンサルタント	・どの顧問先に行っても小泉政権に対する期待の話がよく出てくるが、効果が出てくるころまではいかないと思われる。
	やや悪くなっている	金融業（支店長）	・円高の傾向で輸出関連企業に影響が著しく、また小売業においても対アジア製品の価格が売上高にかなり影響を与えている。
		広告代理店（営業担当）	・例年だと秋口ぐらいの広告出稿の話が出てくるころのはずだが、今年はまだ来ていない。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・金融関係からの融資がより一層厳しくなるとみられる。
悪くなっている	繊維工業（団体職員）	・国内全般の景気の先行きがあまりに不透明で、需要等の回復の気配が全く見えない。	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・今後、企業は生き残りをかけて、少数精鋭だが人材レベルの向上を図り、特に技術系、中途採用が活発化する。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・IT部門に少々かげりが出てきており、企業は一般のオフィス部門において派遣を採用するに当たってもかなり慎重である。
		人材派遣会社（社員）	・短期の派遣が多く、今後の見通しが立たない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・リストラ件数が増加するのに伴い求職者が増加するが、求人広告がそれほど活性化しない状態が続く。 ・新しい業種が大阪圏で次々と立ち上がっているわけでもなく、求人数が圧倒的に伸びるような状態ではない。
		民間職業紹介機関（職員）	・公共工事の単価がもう一段切り下げられるなどの話が飛び交っていて、全く見通しが見つからない。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	・今後の求人数も伸びる見込みがなく、そればかりか企業整理が進む可能性が高い。
		職業安定所（職員）	・複数の大手企業から、人員整理の予定の相談を受けるなど、管内企業の景況感は非常に厳しい。
	悪くなっている	職業安定所（職員）	・求人は横ばい傾向で推移し、求職者は当分増加する見込みである。 ・就職数は減少している。

8. 中国

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	一般レストラン（店長）	・客単価が高いサラリーマンの団体客が増えている。
	やや良くなっている	百貨店（販売促進担当）	・売上や来客数ともマイナス幅が縮まってきており、月によっては前年実績を上回っている。
		百貨店（営業担当）	・紳士物の動きが悪いことが懸念材料になっているが、女性客の動きは堅調である。
		百貨店（売場担当）	・バーゲン品は買わない人でも、良い商品が安くなったら買おうという人はいる。 ・ボーナスが出たり、クリアランスセールで商品が安くなる時期に入ったりするので、若干は良くなる。
		スーパー（店長）	・客の中に目的買いがみられるが、随所に回復の動きも感じられる。
		乗用車販売店（従業員）	・来場者も伸びてきていることから良くなる。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・値ごろ感が出てくれば客は買っていく。今後、消費者が値段を決定していくことになればもっと売れる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		高級レストラン(スタッフ)	・例年と比べて夏に向けての予約が増えている。	
		タクシー運転手	・7月の「花と鳥」をテーマにしたテーマパークのオープンが、幅広い年齢層で話題になっている。料金的にも地理的にも手ごろで、近隣商店やタクシー関係にプラスになる。	
		通信会社(社員)	・夏に向けて新機種が出るので、かなり良くなっていく。	
		住宅販売会社(営業担当)	・住宅や不動産の問い合わせが増えてきている。	
	変わらない	一般小売店[酒](経営者)	・安い商品のみ伸び、利益率の高い商品が売れない。その上酒類免許が18件以上認可され、今後競争が厳しくなる。	
		百貨店(営業担当)	・ファッション性、トレンド性、話題性のある商品の購買は変化するだろうが、その他は変化がない。	
		百貨店(売場担当)	・ミセス層を中心に夏物衣料の売行きが遅れているが、今後やや持ち直す。	
		スーパー(店長)	・客単価は昨年を上回っているが、近くの550坪のスーパーが閉店するなど、店、会社によって明暗がはっきりしている。 ・青果、鮮魚、精肉の買上点数が上がらない。鮮魚は黒潮の影響により、大衆漁である青物が穫れず、トマト、キュウリ、なす、キャベツ等の青果も例年より単価が値上がりしている。	
		スーパー(店長)	・月の後半から客単価が下がり始めている。	
		コンビニ(エリア担当)	・引き続きデフレ基調が続き、値引き合戦により景気は良くなならない状況である。	
		衣料品専門店(地域ブロック長)	・今必要な物しか購入しない傾向が続いており、衝動買いが少ない。 ・ヤング層は気に入った物は購入するが、アダルト層は価格にはシビアである。 ・夏物スーツの売行きが例年より落ちている。	
		衣料品専門店(店長)	・客の購買意欲が上がっておらず、低価格志向はますます強まるか現状維持が続く。	
		家電量販店(店長)	・創業祭を催しても客の購買意欲は上がらず、売上は例年の半分である。 ・今後は少ないながらも買い換え需要に期待している。	
		乗用車販売店(店長)	・客との話の中で先々の不安が多く聞かれ、高額商品の購入は控える方向にある。	
		乗用車販売店(統括)	・来客数、購買状況は例年と変わっておらず、今後良くなるという状況がない。	
		スナック(経営者)	・客の話を聞くと、落ちるところまで落ちており、皆節約している。 ・高給の客が来店するおかげで、全体として売上に変化はない。	
		観光型ホテル(スタッフ)	・予約件数が減少しており、個人、団体ともに動きがみられない。	
		旅行代理店(経営者)	・3月ごろから悪くなり、それ以降回復の兆しがない。	
		通信会社(営業担当)	・良くなる見通しがない。	
		テーマパーク(職員)	・昨年好評だった夏のシーズンイベントを、昨年以上の内容にして実施するため、入場者数の増加が期待される一方で、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの影響が懸念される。	
		住宅販売会社(従業員)	・来客数が減ってきている。	
		やや悪くなっている	商店街(代表者)	・客が必要な物以外買わなくなってきたということと、地域経済自体が地盤沈下しているのので、購買に結び付いていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・近隣の工場のラインが1つ止まった影響で店の売上が減少する。
		スーパー（店長）	・競合店の販促が強化され、売上がますます厳しくなる。
		家電量販店（副店長）	・客に買い控えがみられ、家電リサイクル法対象の商品以外にも影響が出ている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・予約件数が少なくなっている。
		タクシー運転手	・客との話から景気の先行きに対する不安感が依然根強く、タクシーの利用もより厳しくなる。
	悪くなっている	-	-
企業 関連 動向	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	窯業・土石製品製造業（営業担当）	・新規顧客である電子部品メーカーの市況は低迷しており、受注量も大幅に落ち込んだ状況が想定され、最大顧客の高炉メーカーからの受注状況改善の見通しもない。
		鉄鋼業（総務担当）	・顧客の在庫状況からして、夏場過ぎまで現在の横ばい状態が続く。
		金属製品製造業（総務担当）	・5月の仕事量が4月よりわずかばかり増えたが、今後上向くだけの受注量がない。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注見通しに変化がない。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・半導体の不況で液晶の価格が回復しない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・新しい引き合いが今後も続く。
		輸送業（営業担当）	・今以上に良くなる要因がない。地元大手自動車メーカーが停滞しており、関連企業が影響を受けているため、そうした企業との取引に影響が出ている。
	やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	・底網漁船は8月末まで休業、巻き網漁船は本来7月に休漁するが、近年にない不漁で6月早々に休漁する恐れがあり、先行きに不安がある。
悪くなっている	非鉄金属製造業（経理担当）	・IT関連の不況が当分続く。	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・山口きらら博が開催され、雇用状況もやや良くなる。
	変わらない	職業安定所（職員）	・建設業は仕事量が少なく厳しい。製造業はばらつきがあるが、悪いところは残業による雇用調整とか、勤務形態を前期と後期で調整しているところがあり、全体としては現状を維持している。
		学校[大学](就職担当)	・例年6月ごろに採用内定のピークがくるが、その後に採用の大きな波がくることはなく、変化がない。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	・今後も製造業を中心に、事業所閉鎖や人員整理あるいは休業などが発生する懸念があり、新規求職者数の増加が見込まれる。
	悪くなっている		

9. 四国

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・客単価の下落が底を打ったように思う。個性のある商品は、若干単価も上がって売れだしてくると思われる。
		百貨店（営業担当）	・20歳代の来店客が多くみられるとともに、18時以降、キャリアの関連商品を中心に売上也増加している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	通信会社（営業担当）	・各社の決算期の状況をみると昨年よりは利益を上げている企業が少し多くなっている。
		百貨店（企画担当）	・購買意欲に若干の改善が見られるが、高額商品が売れるような予測は難しく、あまり状況は変わらない。
		スーパー（企画担当）	・依然として客は価格に敏感で、不要不急のものを購買するようには思えない。
		スーパー（財務担当）	・客の低価格志向は依然強く、客単価の下落は続くものと思われる。
		家電量販店（店長）	・家電リサイクル法対象4品目の低迷が、6月ごろまで続くと思われる。今後の状況は、季節商品とパソコンの新製品がどの程度貢献するかによって変わってくる。
		家電量販店（営業担当）	・6月末までは現在の状態が続くと思われ、より一層の販売策をとる必要に迫られている。
		乗用車販売店（従業員）	・来客数の減少を新型車効果で補っているが、新型車効果も従来と比べると少ない。
		乗用車販売店（従業員）	・モデルチェンジがあっても、来場者数があまり伸びていない。
		都市型ホテル（経営者）	・先行きの予約というものが決して昨年よりも良い状況ではなく、あまり変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・店頭への来客数はいつもと変わらないが予約の入りが少ない。
		タクシー運転手	・JRの新駅舎の完成や駅前ホテルのオープンなどにより、今のところ人出があるが、いつまで続くの分からない。
		ゴルフ場（従業員）	・2、3か月後の予約状況は、現状とあまり変わらない。
		設計事務所（所長）	・マンション以外の新しい民間物件に回復の兆しが見られない。
		設計事務所（職員）	・建設関連事業の事業受注量が、今後横ばいを維持する。
	住宅販売会社（従業員）	・見学会の客も大きな変化はない。検討案件数も大きな変化はない。	
	やや悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	・製造業や飲食店に勤めている客からデフレの影響を受けているという話をよく聞く。
		家電量販店（店長）	・夏物商品は梅雨明け後の天候次第だが、その他の商品の新製品に魅力ある商品が見当たらず、厳しさが予想される。
		スナック（経営者）	・企業のリストラが続いているため、来客数が減少している。
		観光型旅館（経営者）	・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのオープンや、きら博の開始などにより、来客数の減少が予想される。
		観光名所（職員）	・景気の先行きがみえないために、旅行資金にまわすような感じはみられない。
悪くなっている	一般小売店〔乾物〕（店員）	・法人向けのお中元商品が更に落ち込む。	
	通信会社（企画担当）	・来客数の減少などを考えると、非常に先行きが暗い。	
企業動向関連	良くなっている	家具製造業（営業担当）	・4月および5月が底であろうという意見をよく聞く。6月後半からは発注が増加しそうだという得意先もある。
	やや良くなっている	広告代理店（経営者）	・サンポート高松に、シティホテル等が新しくオープンし、それに伴うイベント、広告出稿、また、交流人口の増加が多少見込まれる。
	変わらない	農林水産業（販売担当）	・価格の安い青果物を求めるという状態が続く。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・小型クレーンは底打ち感が感じられるが、主流の中、大型クレーンについては、依然として低迷している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今のところ注文も順調とはいかないまでも入ってきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		広告代理店（経営者）	・小売業に関しては、イメージ広告ではなく、販促に力点を置き、即効果を目指す傾向が強くなっている。いわゆる苦しまぎれの広告が増加している。
	やや悪くなっている	建設業（総務担当）	・芸予地震の特需も一段落し、公共工事、民間工事とも減少する。
		金融業（融資担当）	・リストラによる失業者の増加から、消費が低迷している。
		不動産業（経営者）	・来客数が減っている。また、出入りの業者等の話を聞いても同じような状況がみられる。
	悪くなっている		
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	・紹介予定派遣の引き合いが増えだしてきている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現在かなり悪い状態であるが、更に急激に悪くなると思えない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	・先行きはやや悪くなり、業種間や企業間での採用意欲に格差が生じている。
	悪くなっている	-	-

10.九州

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・北九州博覧祭が始まり、来客数が増加し、売上が増加することが予想される。
		百貨店（営業担当）	・紳士服のブランドスーツなどの動きにもやや好調さがみられ、高級家具の売出しセールを受注も好調である。
		スーパー（店長）	・家庭用品、衣料品関係が昨年並になってきている。
		衣料品専門店（店員）	・買い控えが続いたために、何か買いたいという雰囲気店頭で感じられる。
		家電量販店（店員）	・5月下旬から商品に少し動きが出てきており、家電リサイクル法施行前の駆け込み需要の反動も6月ごろで終わり、徐々に回復してくると予想される。
	変わらない	商店街（代表者）	・空き店舗が増えてきており新たに入店する店もない。
		百貨店（売場主任）	・高級品や特選品の伸びが今一つであり、将来もそれは変わらない。
		百貨店（売場主任）	・現在、外商客を中心に輸入物の高額ブランドがよく売れ始めてきているが、一般向けの通常商品は苦戦している。
		百貨店（営業担当）	・買上単価は低下傾向であり、レジ客数も前年並みである。
		百貨店（営業担当）	・今後クリアランス前ということで買い控えが生じてくることが予想される。また、ヒット商品がない状態が続いている。
		百貨店（営業担当）	・季節の変わり目であるが、夏物にも大きな動きはみられず、ヒット商品も出てこない。
		百貨店（販売促進担当）	・来客数が増えているが、購買単価と購買個数が前月どおりあまり好ましくない。
		スーパー（店長）	・値ごろ品や安売りでも客の反応が鈍く、必要なものだけ購入している。
		スーパー（店員）	・仕入先の倒産など、身の回りでは景気が良くなるという兆候はみられない。
		衣料品専門店（店員）	・携帯電話や旅行、食を楽しんでいる客が増えているが、衣料品はしばらく回復しないと思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が今から出る予定であるが、200万円以上する高級車ばかりなので、対前年比を維持するのが精一杯である。
		住関連専門店（店長）	・プライダル新築事業の商戦が悪い。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・ゴールデンウィークが終わると来客数が激減した。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	やや悪くなっている	百貨店（売場担当）	・客単価、一品単価が特に今月に入ってかなり下がっている。 ・昨年落ち込んだ紳士服や子供服などが1年たった今でも前年を割っている。	
		百貨店（営業担当）	・中元時期の7、8月は選挙とも重なるため、ギフトを含めて厳しい環境になる。	
		コンビニ（エリア担当）	・売上の減少の原因が景気なのか、競合店等の出店なのか分からない状況である。	
		家電量販店（店長）	・夏物商品の動きが前年に比べて遅れており、「ボーナスが出てから…」という客の声を良く聞く。	
		家電量販店（店員）	・2、3か月後は今月より季節商品で若干売上が上がると思われるが、客単価の下落により全体では悪くなっていく。	
	悪くなっている	一般レストラン（スタッフ）	・全国チェーン店の進出が相次いでおり、地元の店の閉店が続いている。	
企業動向関連	良くなっている	建設業（総務担当）	・当面の工事の受注が多く、すべては受けられない状態である。	
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・一部の取引先から、ここ2、3か月仕事量が増加するような話がある。	
		建設業（経営者）	・現在の受注状況は若干ながら増加傾向にある。	
		通信業（経営者）	・発注依頼、見積、次の商品の開発依頼などが、半月ほど前から目立ってきている。	
	変わらない	農林水産業（経営者）	・梅雨が開けて夏場は少し期待できると思うが、畜産関連の供給過剰が少し気になる。	
		食料品製造業（経営者）	・酒類業では売上の悪化にリストラという動きがみられる。	
		食料品製造業（経営者）	・売上高は前年比で伸びているものの、客単価の低下傾向が依然として続いており、明らかな来客数の増加が見込めそうにない。	
		出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・夏場は閑散期で暇になるため、キャンペーンなどを企画するが、今のところ大きな仕事の問い合わせは来っていない。	
		輸送業（総務担当）	・製造関係の得意先では来月以降の生産計画も今月とほぼ同じと聞いている。出入りの運送業者でも得意先を絞るような動きがみられ、今後もすぐ良くなるとは思えない。	
			広告代理店（従業員）	・4月から発注件数、折込枚数ともに減ってきている。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体業界の在庫調整がしばらく続くと思われる。	
悪くなっている	家具製造業（従業員）	・九州では、特に今から3か月は物件の情報がほとんどなく、物件があっても金額面で折り合わない。		
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（支店長）	・年度始めの4、5月は前年比で良い数字が出ているので、まず間違いなく良い方向に向かっている。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・求職者と企業とのミスマッチがよく言われているが、雇用条件、特に給与などの面において改善がみられない。	
		人材派遣会社（社員）	・リストラによる再就職希望者の受け入れが確定しつつあり、増加傾向にある。しかし、再就職先数は減っている。	
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・中途採用に関しては対前年比で横ばいであるが、派遣社員については非常に増えてきている。 ・人材に対するニーズはあるものの、企業側とマッチしていない。	
		職業安定所（職員）	・求人、就職率については、対前年同月比では増加傾向にあるが、対前月比では減少しているなど、斑模様である。 ・ミスマッチの解消にはしばらく時間を要する。	
	やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-		

11. 沖縄

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店（経営者）	・昨年より良い決算状況となった大企業や金融機関が増えており、将来は良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・低価格で良い商品を提供するという戦略を実行していけば、客はついてくる。単価は低下するが客の買上点数は戻りつつある。それでも店舗の格差は埋まらないが、売上の確保はできる。利益に関しては時間の経過によらなければ何ともいえない。
		高級レストラン（副支配人）	・中北部や離島へ客が流れるとの懸念はあるが、今後3か月は期待できる。テレビドラマや世界遺産登録による効果を期待している。
	変わらない	百貨店（総務担当）	・中元商戦をどう乗り切るかにかかっている。
		スーパー（企画担当）	・競合他社の宣伝が盛んになっており、単価の下落もしばらく続く。
		スーパー（買付担当）	・現状の様子では、景気が今後何か月かで好転する要因が見受けられない。
		観光名所（職員）	・来客数は現状を維持する。
	やや悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	・テナントの空室の状況が変わらない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・政権が変わり、国民の政治への関心が高まっているが、根本的には変わらない。政治ではなく、企業や団体の努力が重要であり、その努力がない限り今後は景気の見通しが立たない。
悪くなっている	観光型ホテル（スタッフ）	・2、3か月後の予約状況が悪い。	
	商店街（経営者）	・小さな小売店は危機的な状況にあり、景気の下降はまだ進行中である。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	建設業（経営者）	・6月以降8月にかけて公共事業関連の発注がされるため、景気は上向きになる。
		輸送業（総務担当）	・家電の需要が増え、物量が増加し、家電リサイクルの集荷も最近増えている。
		通信業（従業員）	・依頼案件が続々とあり、自社の要員では対応できない状態である。今後もこの状況が続く。
	変わらない	不動産業（従業員）	・客のニーズへの対応は行っているものの、客層の狭さ、客足の鈍さから、今後の2、3か月では変化は期待できず、見通しが見つからない。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・携帯電話を含む情報通信関連からの雇用が多くなっている。
	変わらない	-	-
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	・人員整理による解雇が増加しており、新規求人倍率、有効求人倍率ともに前月に比べ低下している。卸、小売、飲食店業が最多の20社、サービス業が9社、運送業が1社それぞれ倒産している。
	悪くなっている	-	-

